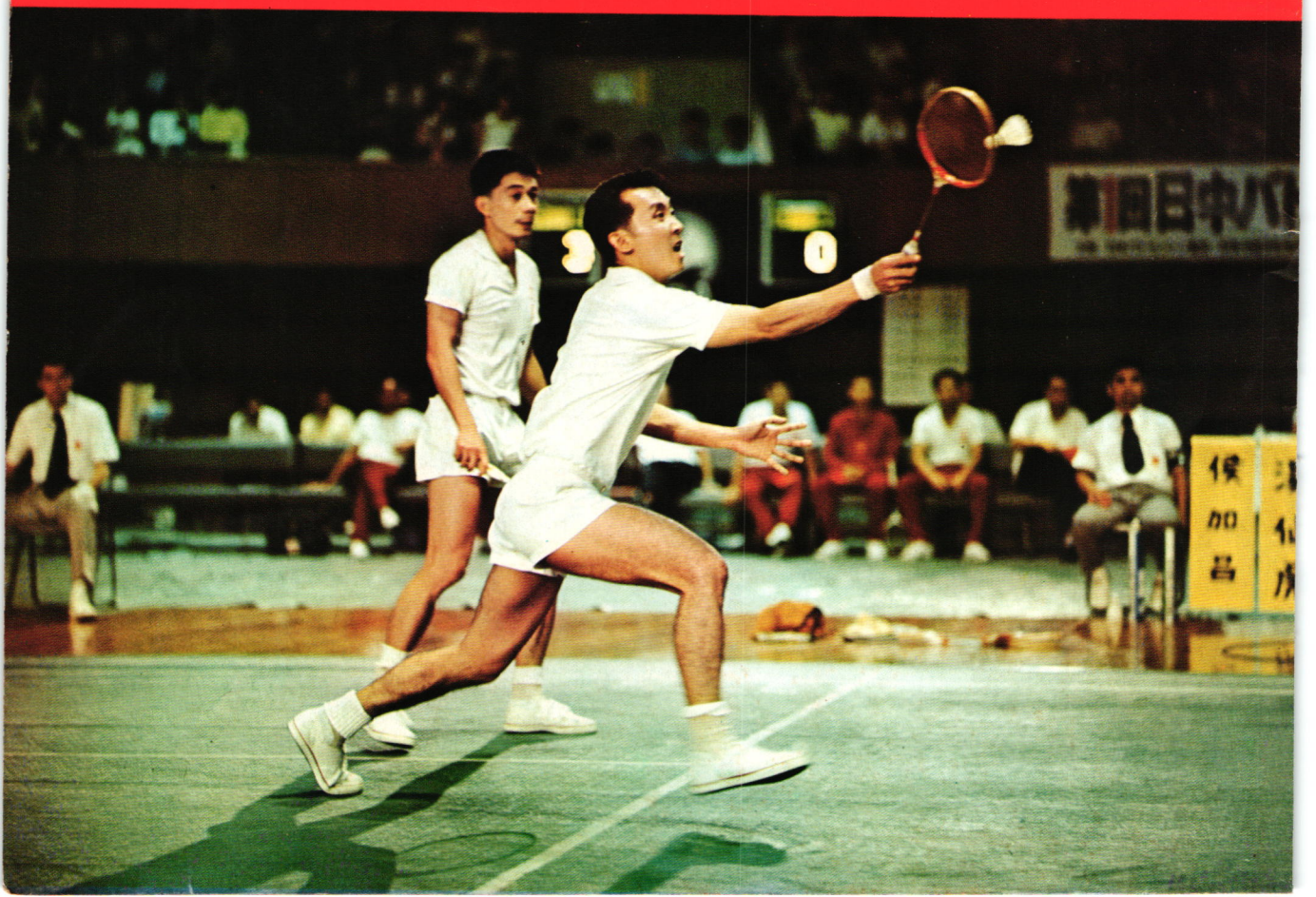
昭和44年12月23日第３種郵便物認可昭和48年９月１日発行毎月１回１日発行

日本バドミントン協会

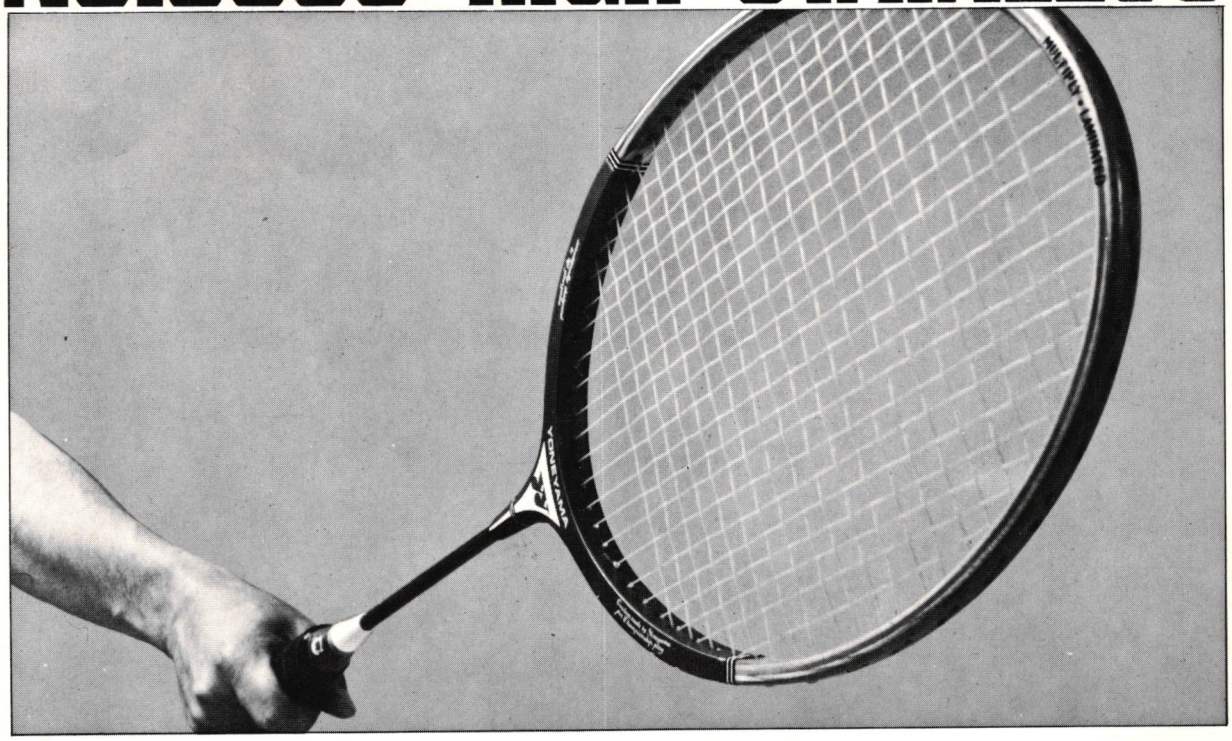
バドミントン界

THE BADMINTON WORLD

47 SEPTEMBER, 1973



No.9000 HIGH STAINLESS



未知のちからを隠しもつ

ステンレスのシャフト

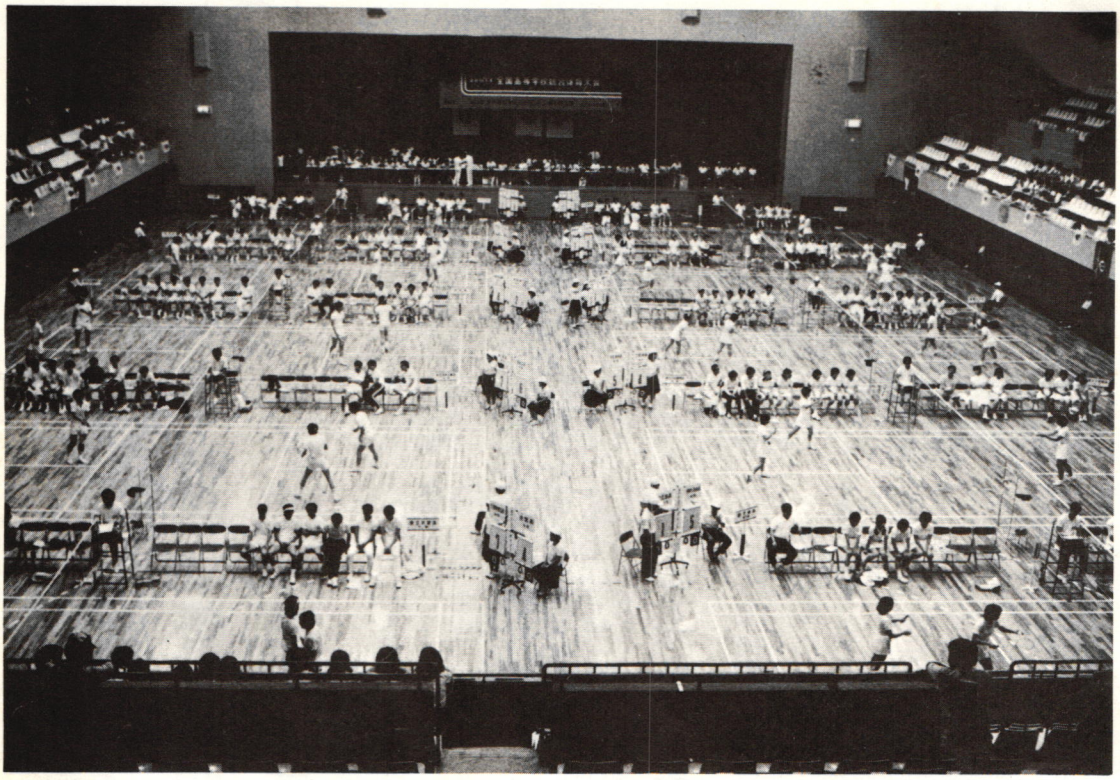
しぶとい弾力。まったく鋭い切れ味。瞬間に炸裂する攻撃力。いままでのバドミントンラケットでは、とても出せなかった鮮烈なパワーです。シャフトにステンレスの特性を生かしきってありますから、難度の高いテクニックも思いのまま。これぞ、バドミントンを科学するヨネヤマの、新しい自信作です。その名をハイステンレス。その真価は、世界に点在する一流プレイヤーたちに問いたい。

No.9000ハイステンレス/ ¥3,800(フレームのみ)

ヨネヤマラケット

第24回全国高等学校選手権大会

沖縄特別国民体育大会に熱戦を展開



〈48年9月号〉

【特集】第24回全国高等学校選手権大会
・金沢市立工業と四条畷学園に栄冠……2
・西村、単複ともに危げなし……5
・徳田〝中山二世〟の評を裏づける……6
・観戦記（小島一平）……7
☆日韓高校バドミントン競技大会……8
☆東日本学生選手権……10

【特集】沖縄特別国民体育大会
・本土・沖縄とがっちり手をつなぐ……12
・天気晴朗なれど波高し……14
・沖縄特別国体に参加して……16
☆百万人のトレーニング入門⑦……26
☆大会運営規定100問集……30
☆森本一雄先生をしのぶ……31
☆北から南から
・反射神経と持久力を養うのに最適……32
・患者の社会復帰に一役……33
・ポスターありました……34
・モデルは日体大女子……35
・レコード……36
・今月のことば……40
・編集室……40
・協会推奨品一覧……29

スタッフ／表紙撮影・松井亮麿／同製作・小浜正道／グラフ写真・山田真市／その他写真・山田真市、協会関係者／編集・明本薫、瀬戸孝／協力・日本協会事務局、各加盟団体、愛読者

金沢市立工業と四条畷学園に栄冠

全国高校選手権大会

富山商業勢、個人戦で見事な活躍
女子は徳田が圧倒的な強さを発揮



四日市市体育館

昭和48年度全国高等学校総合体育大会のバドミントン選手権大会（第24回）は、8月1日から6日まで、三重県四日市市で開かれた。

男子団体戦は総合力にまさる金沢市立工業高校（石川）が四年ぶり、三度目の優勝をとげ、女子団体戦は、四条畷学園高校（大阪）が圧倒的な強さをみせて、三年連続優勝をとげた。

個人戦では、男子は富山商業高校（富山）が、女子は四条畷学園高校がいずれも独占した。

金沢市工、チームワークの勝利

富山商業は日大山形に屈す

◇男子団体戦

▽準々決勝

正　強　3―1　伊勢工業（三　重）
日大山形　3―2　富山商業（富　山）
金沢市工　3―2　日大鶴ケ丘（東　京）
勝　山　3―2　岐阜東（岐　阜）
（福　井）

▽準決勝

日大山形　3―0　正　強
○二本柳　2（15―13　15―3）1　池田○
米　山　2（15―6　15―3）1　松　重
○佐　藤　2（15―5　15―2）0　中岡○
黒　沼　2（15―10　15―7）0　春　井
○二本柳　2（15―13　15―3）1　池田○
金沢市工　3―2　勝　山

▽決　勝

金沢市工　3―1　日大山形
寺　田　0（11―15　3―15）2　二本柳○
宮　崎　0（4―15　9―15）2　長谷川○
○木　下　2（15―8　15―7）0　佐　藤
小　中　2（15―2　15―1）0　中　村
○寺　田　2（15―11　15―4）0　二本柳
寺　田　0（4―15　6―15）2　長谷川○
○木　下　2（15―6　15―3）0　多　田
○小　中　2（18―17　15―1）0　平　野
寺　田　0（4―15　9―15）2　長谷川○
○木　下　2（15―2　15―1）0　中　村
寺　田　0（4―15　6―15）2　長谷川○
○木　下　2（15―6　15―3）0　多　田
○小　中　2（18―17　15―1）0　平　野
寺　田　0（11―15　3―15）2　米　山○
宮　崎　0（4―15　9―15）2　長谷川○
○木　下　2（15―8　15―7）0　黒　沼
小　中　2（15―2　15―1）0　中　村
○寺　田　2（15―11　15―4）0　二本柳
寺　田　0（4―15　6―15）2　長谷川○
○木　下　2（15―6　15―2）0　佐　藤
○小　中　2（18―17　15―1）0　平　野

（評）男子団体戦は、西村、梶川を有する富山商業が優勢と

みられていたが、準々決勝で、日大山形にフル・ゲームの末敗れ去った。

この試合、富山商業のナンバーワン・ダブルス、西村・梶川組は、二本柳・米山組に一方的に押しまくられ、ストレート負けを喫した。第2ダブルスの松田・磯野組も佐藤・黒沼組に食い下がったが、第2、第3ゲームは一方的に攻められ、敗れた。

その後のシングルスで、西村、梶川が頑張り、2－2のタイスコアにこぎつけたが、第3シングルスの松田は曳地にストレートで敗れ、万事休した。

結果的には、まず絶対確実とみられていた西村・梶川組がストレートで敗れたことが、勝敗の分れ目であったといえよう。しかし、これは、実力ナンバーワン・ペアを向こうにまわし、積極果敢に攻めまくった、日大山形の二本柳・米山組を大いにほめるべきである。

準々決勝は、正強が伊勢工業に3－1で勝ったほかは、すべてフル・ゲームにもつれ込み、見ごたえのある熱戦であった。

準決勝は、富山商業を倒し勢いにのる日大山形が、前年の覇者・正強を3－0のストレートで降し、決勝進出を決めた。

一方、金沢市立工業は勝山の善戦にあい、第3シングルスに勝敗がかけられた。小中対平野の一戦は、第1ゲームセッティングの末、勝ちとった小中が、2ゲーム目は一方的に押しまくり、金沢市立工業の決勝進出を決めた。

決勝は、総合力にまさる金沢市立工業が、3－1で日大山形を降し、4年ぶり3度目の優勝をかざった。

富山商業、正強と強豪を倒し快進撃を続けてきた日大山形は、決勝にきて、疲れが出たのか動きに、いまひとつの冴えがみられず、ダブルスを一本取ったにとどまった。

一方、金沢市立工業は、これといったエースはいないものの、ガッチリとしたチームワークとファイトを結集し、見事、栄誉を手にした。


日大鶴ケ丘（東京）


日大山形（山形）


桐生市立商（群馬）


勝山高（福井）

河原山金沢市立工業監督の話

飛び抜けてよい選手がいないことで、それだけ選手一人一人にがんばらねばならぬ、という自覚を与えていました。チームワークが勝因です。予選での苦戦がクスリになっていたうえ、自校野球部の甲子園出場決定が試合直前に出たことが、ムード的に高めてくれた。

練習場所を貸してくださった大徳小学校や、県体育館と指導してくださったバドミントン協会、OBに感謝しています。

小中正道副主将の話

まだ実感がわかない。予選から苦戦することにも慣れ、ふだん調子がよくないものもよく闘ってくれました。絶対に優勝するんだ、という気持でいっぱいでした。

四条畷、他校を寄せつけず

我孫子二階堂の健闘及ばず

◇女子団体戦

▽準々決勝

四条畷 3－0 帯広大谷（北海道）

成安女子（京都） 3－1 山陽女子（岡山）

真岡女子（栃木） 3－0 奈良一条（奈良）

我孫子二階堂（千葉） 3－0 長崎商（長崎）

▽準決勝

四条畷 3－1 成安女子

○徳田 15－2 宮本
高田 15－4 貝瀬
植野 1－15 井上
秋本 4－15 2 朝日○

我孫子二階堂 3－1 真岡女子

○高田 11－5 0 北村
徳田 11－2 0 井上
平野 15－8 1 日向野
○山田 15－9－15－7 2 石田

▽決勝

四条畷 3－0 我孫子二階堂

○徳田 15－5 0 平野
高田 17－14 0 山田
○植野 15－3 0 吉岡
秋本 15－0 0 清水

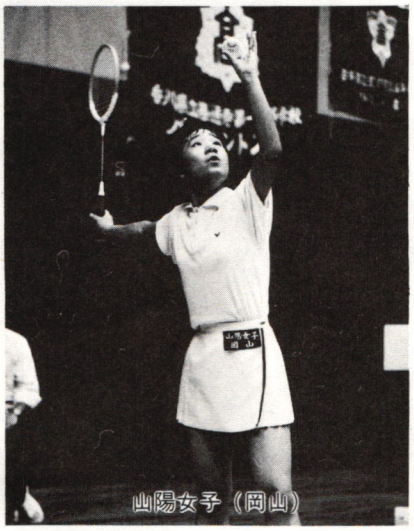
○高田 11－2 11－5 0 平野
徳田 11－3 11－5 0 井上
吉岡 0－2－15 2 青木
清水 0－15 2 増山○
○瀬野 11－0 11－2 1 日向野
山田 11－4 11－6－11 1 石田

〔評〕女子団体戦は、四条畷の圧倒的な強さを、まざまざと見せつけられた。

決勝で対戦した我孫子二階堂は1ゲームもとれず敗れ去った。本大会での焦点は、他校が四条畷にどこまで食い下がるかだったが、残念ながら、その勝利をおびやかすチームは現われなかった。

徳田・高田を中心とする四条畷のチーム力には敬服させられたが、一日も早く国際級の選手に育ってほしいものである。そして他校もその距離を少しでも縮めるよう頑張ってほしい。


四条畷学園（大阪）


山陽女子（岡山）


善通寺第一（香川）


横浜女子商業学園（神奈川）


高岡商業（富山）

西村、単複ともに危げなし

池田もよく頑張り、二位入賞

◇男子ダブルス

▽準々決勝

西村・梶川（富山商） 2－1 二本柳・米山（日大山形）

平野・長谷川（勝山） 2－0 木下・小中（金沢市工）

榎・中谷（日大鶴丘） 2－0 荒木・林（上市）

池田・松重（正強） 2－0 寺田・矢部（会津工業）

▽準決勝

西村・梶川 2（15－6、15－4）0 平野・長谷川

池田・松重 2（15－9、15－10）0 榎・中谷

▽決勝

西村・梶川 2（15－7、15－5）0 池田・松重

◇男子シングルス

▽準々決勝

池田文昭（正強） 2－0 井上健二（大阪府市岡）

梶川博之（東奥義塾） 2－1 工藤吉彦（富山商）

辰己秀雄（奈良一条） 2－0 奥村正（伊勢工業）

西村正美（富山商） 2－0 寺田繁（会津工業）

▽準決勝

池田 2（15－7、15－8）0 工藤

西村 2（15－1、15－9）0 辰己

▽決勝

西村 2（15－1、15－8）0 池田

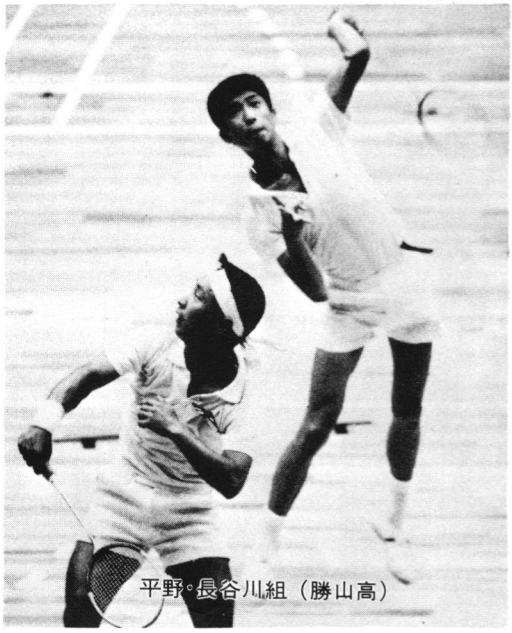
〔評〕男子個人戦は富山商業勢が独占し、前評判どおりの強さを見せるとともに、団体戦の雪辱をはたした。

ダブルスで、西村・梶川組は団体戦において苦杯を喫した日大山形の二本柳・米山組と準々決勝で対戦した。事実上の決勝とみられたこの一戦は、1ゲーム目、二本柳・米山組が快調なすべり出しで、15－7と先取、団体戦のときと同様、そのまま一気に決着をつけるかに思えた。

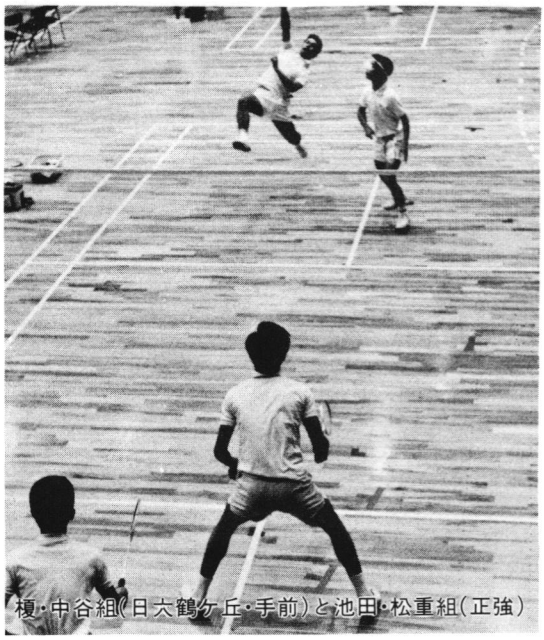
しかし、西村・梶川組は、よく立ち直り、2ゲームを15－3で取ると、3ゲーム目も15－10で取り、逆転に成功した。団体戦での苦杯を教訓とし、気力を充実させた、西村・梶川組の試合ぶりは見事だった。

その後、準決、決勝ともに、西村・梶川組は、全く相手を寄せつけず完璧な内容で優勝に輝いた。

一方、シングルスでも、西村



平野・長谷川組（勝山高）



榎・中谷組（日大鶴ケ丘・手前）と池田・松重組（正強）



西村・梶川組（富山商・手前）と平野・長谷川組（勝山高）

は圧倒的な強さをみせて快調にとばし、準決の辰巳、決勝の池田ともにストレートで降した。

池田も正強のエースの自覚十分でよく頑張り、また伏兵、寺田も単複ともベスト8にはいる健闘をみせた。

二冠に輝いた富山商勢は、レシーブ力にすぐれ、ラリーをつなぎ、チャンスとみると積極的に飛び込み、見事な試合を展開した。

不破富山商業監督の話

団体、ダブルス、シングルスの三冠を取る自信はあったが、団体戦の準々決勝で伏兵の日大山形に敗れ、個人戦では絶対優勝しなければと両選手の気力も充実していました。勝って当然です。



山田・野中組（長崎商）

徳田〝中山二世〟の評を裏づける

三冠をガッチリ獲得

◇女子ダブルス

▽準々決勝

井上・朝日（成安女子） 2－1 平野・山田（我孫子二階堂）

山田・野中（長崎商） 2－0 酒井・前田（新潟青陵）

日向野・石田（真岡女子） 2－0 渡辺・浦田（平商業）

徳田・高田（四条畷） 2－0 木伏・大塚（新潟青陵）

▽準決勝

井上・朝日 2（15－5, 15－7）0 山田・野中

徳田・高田 2（15－4, 15－7）0 日向野・石田

▽決勝

徳田・高田 2（15－6, 15－8）0 井上・朝日

◇女子シングルス

▽準々決勝

徳田　敦子（四条畷） 2－0 山田美根子（長崎商）

朝日　昌子（成安女子） 2－0 日向野藤枝（真岡女子）

井上　昌子（成安女子） 2－0 近藤　小織（山陽女子）

桜井　誠子（尼崎高） 2－0 植野恵美子（四条畷）

▽準決勝

徳田　2（11－1, 11－0）0 朝日

井上　2（11－4, 11－3）0 桜井

▽決勝

徳田　2（12－10, 11－4）0 井上



徳田・高田組（四条畷学園）

〔評〕 団体戦同様、個人戦も四条畷の圧倒的な勝利だった。

ダブルスにおいて、高田と組んで危げなく優勝した徳田は、シングルスでも順当に勝った。

シングルス決勝で徳田と対戦した井上は、よく食い下がり、1ゲーム目、セッティングとなったが、それが精いっぱいで、2ゲーム目はあっさりと敗れ去った。もし、1ゲーム目を先取していれば、また違った試合展開となったかも知れないが、いずれにしても、四条畷勢、とくに徳田は、高校生ばなれした試合内容で、中山二世という評判を裏付けた。

観戦記（男子団体）

小島一平



金沢市立工業高校チーム



四条畷学園高校チーム

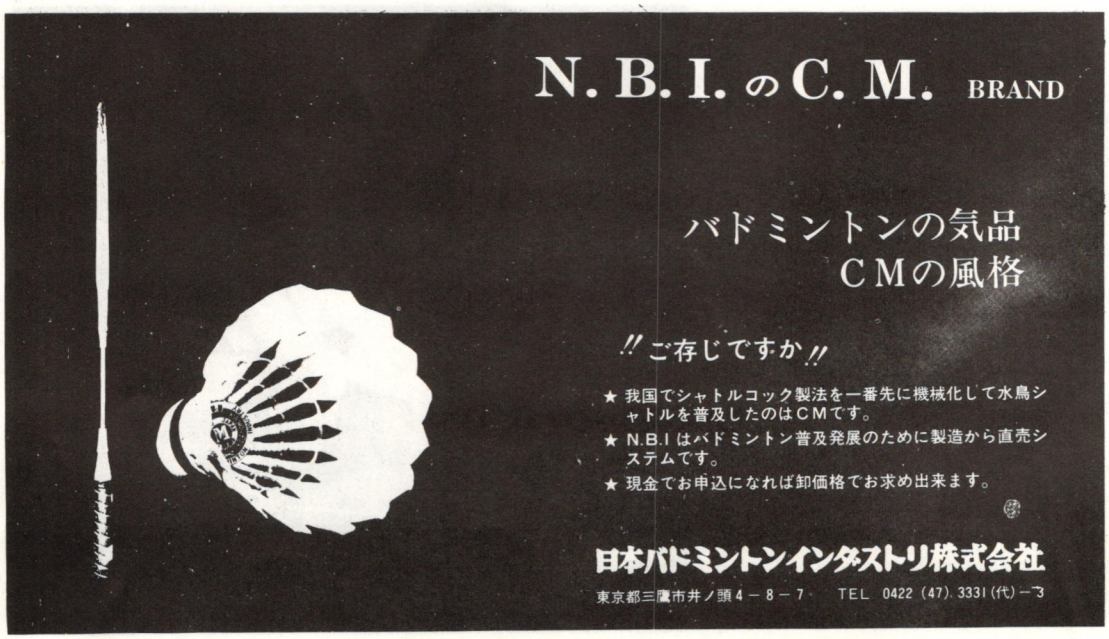
優勝した金沢市立工業は、4年ぶり3度目だが、河原山監督の指導力もさることながら、選手一丸となったチームワークもすばらしかった。体力的にも十分走り込んでいることは間違いなく、決勝は技術よりも体力的に差が出た。

反面、初優勝をねらう日大山形は宿敵富山商業を初めて倒したが、決勝で頼みのエースが疲労しなすすべもなく敗れ去った。

今大会は戦国時代ともいうべき大会で、各チームともずばぬけた選手は居らず、技術的には低調な大会ではあったが、それだけにもつれた試合が多く、熱がはいった。その他、勝山高校が北陸では一番レベルの低い福井県から出場、ベスト4に進出した健闘は見逃せない。

全般的には、まず迫力のある選手が見当らず、ストロークも単調であったが、高校生の真剣なプレーぶりは、いつ観戦してもさわやかであった。

なお、会場で再三、〝観覧席での応援はおやめ下さい〟とアナウンスしていたが、インターハイその他の大会でも、ムードの盛り上がることは大賛成の小生、この点ナンセンスと感じた。



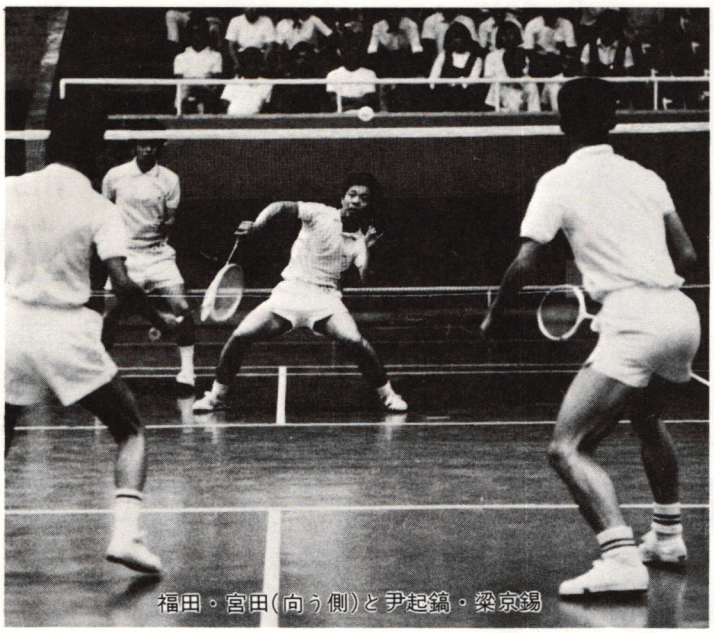
着実に地力をつけた韓国チーム

日韓高校バドミントン競技会

金沢市工も大苦戦

日韓高校スポーツ交歓競技会のバドミントン競技は、韓国チームを招いて、8月18日、20日の両日、東京駒沢体育館で行なわれた。

韓国チームは年を追うごとに着実に力をつけており、今大会でも、東京代表の巣鴨女子高校をストレートで降すなど、立派な内容の試合を展開した。


福田・宮田(向う側)と尹起鎬・梁京錫

＝女　子＝

東京代表 巣鴨女子高 0－5 韓国代表 聖旨女子高

山口久美子・徳久真理子 0 (1－15, 6－15) 2 李鐘姫・宋香順
鈴木美佐子・野口泰枝 0 (1－15, 3－15) 2 黄成淑・金恵卿
山口久美子 0 (10－12, 4－11) 2 李鐘姫
徳久真理子 0 (0－11, 1－11) 2 黄成淑
鈴木美佐子 0 (3－11, 1－11) 2 宋香順

〔評〕すべての面において上回る韓国聖旨女子高校チームのメンバーは、ダブルス、シングルスともに、長身を生かした角度のあるスマッシュを武器に、巣鴨を一方的に押しまくった。

＝男　子＝

東京代表 日大鶴ケ丘 3－2 韓国代表 選抜混成軍

榎博久・中谷明人 2 (15－15, 15－9) 0 金明煥・尹守
福田利男・宮田光 2 (18－15, 15－10) 0 尹起鎬・梁京錫


黄聖叔・金恵卿

榎博久 0 (6－15, 7－15) 2 金明煥○
○福田利男 2 (15－3, 15－7) 0 尹起鎬
中谷明人 1 (15－5, 11－15, 4－15) 2 尹守○

〔評〕韓国チームはダブルスを不得手とするのか、両試合ともストレートで敗れた。

しかし、一方シングルスでは、一番手の金が、日大鶴ケ丘ナンバーワンの榎に対して、終始リードを保ち、反撃のチャンスを与えず押し切った。

二番手の尹起鎬は福田に、一方的に敗れたが、三番手の尹守と中谷の一戦はみごたえがあった。中谷は、長身を利しての鋭角的なスマッシュを軸に第1ゲームを先敗。第2ゲームは尹がよくねばって、ファイナルゲームに持ち込んだ。そして、疲てのみえた中谷はスマッシュを有効に使えなくなり、尹のペースのまま終了した。

＝女　子＝

日本代表　4－1　韓国代表
四条畷学園　　聖旨女子高

○徳田敦子・高田幹子　2　15－8　15－4　0　黄聖淑・金恵卿

植野恵美子・秋本美津子　0　2－15　2－15　2　李鐘姫・宋香順○

○徳田敦子　2　11－5　11－7　0　李鐘姫

○高田幹子　2　11－12　11－6　11－12　1　宋香順

○植野恵美子　2　12－10　11－6　0　黄聖淑

【評】　四条畷は全日本チャンピオンだけあって、ダブルスを一つ落としたものの、よくねばって拾いまくり、4－1で快勝した。

ダブルス1－1のあと、第1シングルス徳田と李の試合は、李が球威のあるクリアー、スマッシュで徳田を苦しめたが、徳田は終始あわてず、要所要所をしめ、2－0で勝った。

第2シングルス高田対宋の試合は、両者実力が接近し、非常に好ゲームとなった。

1ゲーム目、セッティングの末敗れた高田は、第2ゲーム奮起し、11－6で降し、ファイナルゲームにもつれこんだ。

ファイナルゲーム、宋に10－7とマッチポイントを握られた高田はあきらめず、ねばりのあるプレーをみせ、10オールのセッティングにもちこんだ末、12－11で勝利をものにした。

あと一歩と攻めこんだ宋も立派なら、最後まであきらめず、逆転した高田のねばりある気力も見事だった。

第3シングルス植野は、黄の積極的な攻めにあって、1ゲーム目6－10とゲームポイントをとられたが、高田に劣らぬねばりを発揮し、黄のミスを誘い、12－10と逆転した。第2ゲーム目、黄はミスを連発し自滅した。

＝男　子＝

日本代表　3－2　韓国代表
金沢市立工高　　選抜混成軍

木下一彦・小中正道　2　15－7　15－5　0　金明煥・梁京錫

寺田豊範・○宮崎重　2　15－8　18－17　0　尹守・尹起鍋

木下一彦　0　5－15　9－15　2　金明煥○

寺田豊　0　8－15　9－15　2　梁京錫○

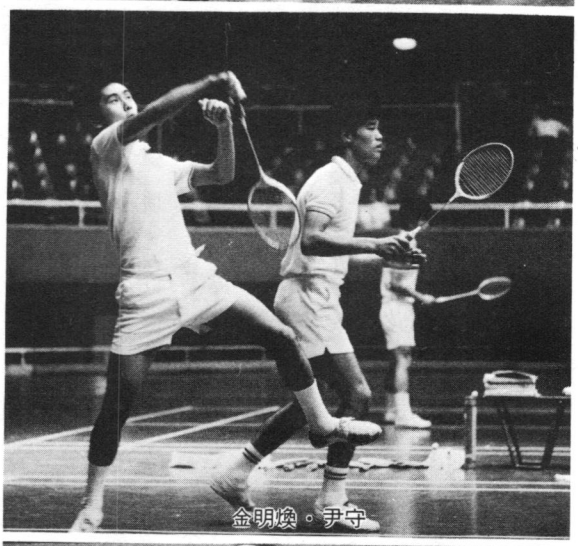
○小中正道　2　15－8　15－11　0　尹守

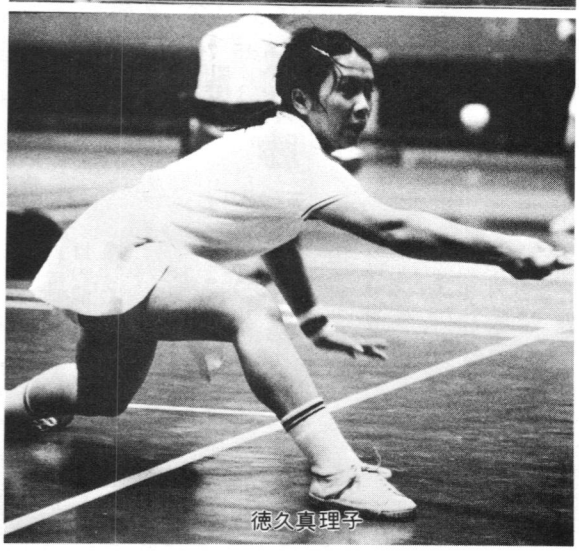
【評】　やはりこの試合も、韓国はダブルス二本とも落とす。しかし、シングルスになると俄然緊迫。金が木下を降すと、梁も寺田をストレートで降し、2－2のタイに持ち込んだ。

そして、第3シングルスはオーソドックスなプレーヤー同士の対戦で、好ゲームとなった。しかし、地力のわずかに上回る小中は、疲れが出て集中力に欠けた尹を2－0で降した。

二日間を通じて、韓国チームは、着実に実力をつけており、ダブルスの研究次第で、間もなく日本をおびやかす、手ごわい相手となろう。（学連・佐藤）


鈴木・野口


金明煥・尹守


徳久真理子

日下（中大）、秋本（日体）が初の栄冠

東日本学生選手権　33校600余名が参加

◇男子シングルス

▽準々決勝

尾崎 2(15-10, 15-5) 0 山本（中大）

本間 2(15-9, 1-15, 15-11) 1 松口（早大）

佐藤（日体大） 2(5-15, 15-4, 15-11) 1 舟山（日大）

日下（中大） 2(15-4, 15-5) 0 土江田（早大）

▽準決勝

尾崎 2(15-3, 15-5) 0 本間

日下 2(15-12, 12-15, 15-11) 1 佐藤

▽三位決定戦

本間 2(15-4, 15-8) 0 佐藤

▽決勝

日下 2(15-8, 15-9) 0 尾崎

〔評〕　三位決定戦は、両者疲労のためか、下で拾うことが多い。守勢に立ちながら、レシーブの良さとねばり強さで勝ち進んできた佐藤であったが、極端にレシーブが乱れ、凡ミスを連発。しかし、これは本間の攻撃をほめるべきであろう。

2ゲーム目にはいると、動きが両者ともよくなり、ラリーの応酬は見ごたえがあった。しかし、これも5オールまで、その後は、また本間のペースで試合が進み、13－5と一気に差をつけられてしまった。最後、佐藤は必死に頑張ったが、この大差はいかんともしがたく押し切られてしまった。

（関東学連　市原康史）

□

決勝の第1ゲームは、日下のレシーブがさえわたる反面、尾崎のスマッシュ・コントロールが乱れ、サイド・アウトが多くなる。日下が攻守にわたって波に乗り、一気に9－0とポイントを離し、途中10－8となるも15－8で振り切る。

2ゲームに入り、尾崎はけん命にばん回をはかる。しかし、日下のヘアピンがさえ、逆に尾崎に返球ミスに出る。その後も、攻撃を積極的に仕かけ、守りも固い日下がマイペースで試合を進め、初優勝を飾った。

（関東学連　大川　章）

◇女子シングルス

▽準々決勝

清水 2(11-9, 11-2) 0 樋口（東女体）

千葉（日女体） 2(11-6, 11-1) 0 陣内（日体）

秋本（日体） 2(11-6, 11-1) 0 北島（日体）

谷（日体） 2(11-1, 4-11, 11-3) 1 池田（日女体）

▽準決勝

千葉 2(5-11, 11-3, 11-2) 1 清水

秋本 2(7-11, 11-4, 11-0) 1 谷

▽三位決定戦

清水 2（キ）0 谷

▽決勝

秋本 2(11-6, 12-9) 0 千葉

〔評〕　若さと迫力を感じさせる決勝戦にふさわしい試合であった。高度な技術、ラリーの応酬、フットワークなど見ごたえのある一戦だった。

1ゲーム目、一年生らしいはつらつとしたプレーをみせる千葉は、迫力で押す秋本を4－2とリードするも、4－7と逆転され、そのまま押し切られる。

2ゲーム目前半、秋本4－1と先行。そのまま押し切るかと思われたが、千葉はよく頑張り、コート内を走り回って秋本のミスをさそい、9－6と優勢に立った。しかし、秋本はその後の得点を許さず、セッティングに持ち込み、そのまま3ポイントを連取した。

（関東学連　鈴木みどり）

舟山・村谷（日大）接戦で勝つ

西尾・秋本（日体）は楽勝

◇男子ダブルス

▽準々決勝

飯野・土田（日大） 2(15-3, 15-5) 0 森田・下田（法大）

須藤・栗原（日体） 2(15-10, 17-18, 15-8) 1 菅三・浦（東北学院）

舟山・村谷（日大） 2(15-11, 15-11) 0 巽・斎藤（法大）

土江田・松口（早大） 2(15-11, 4-15, 15-10) 1 米山・原（法大）

▽準決勝

舟山・村谷 2(15-8, 15-12, 2-15) 1 土江田・松口

須藤・栗原 2(15-6, 15-9) 0 飯野・土田

▽三位決定戦

土江田・松口 2(15-6, 15-9) 0 須藤・栗原

▽決勝

舟山・村谷 2(15-6, 1-15, 15-12) 0 飯野・土田

〔評〕　三位決定戦は、ねばりにねばって勝ち抜いてきた同士であるため、好試合が期待されたが、勝負はあっけなく決まった。須藤・栗原組は、1ゲーム目、4オールから4－9と、2ゲーム目、7オールから7－11と簡単に引き離されたのが痛く、そのまま押し切られた。若さ一杯に動き回ったが、土江田・松口の前に力を出しきって敗れた感じであった。

□

決勝は、互いに相手の手の内をよく知りつくしたペアの対戦。

1ゲーム目、飯野・土田組のスマッシュが決まり、4－1とリードする。ここで奮起した舟山・村谷組は相手のレシーブミスや攻撃ミスに助けられ、11－4と逆転、勝負を決めた。2ゲーム目は、形勢が逆転し、舟山・村谷組はほとんどサーブ権も得られぬままタイにもちこまれた。

内容的に乏しかった1、2ゲームに比し、第3ゲームは一進

一退の大接戦。どちらのペアも初のタイトル獲得に執念をもやし、決勝戦にふさわしい一戦となった。

舟山・村谷組はたえず先手をとり、引き離そうとするが、飯野・土田組もピッタリとくっつき、スリリングな内容となった。10オールから13―10となったのが勝敗の分れ目で、長時間に及ぶ試合を終わった両者は、ともに全力を尽し切った様子だった。

（関東学連　市原康史）

◇女子ダブルス

▽準々決勝

西尾 秋本 2（15―7 15―4）0 千葉 吉田（日女体）
陣内 山森 2（15―4 13―15 15―5）1 池田 高林（日女体）
佐伯 谷藤 2（15―2 15―10）0 清水 井（東女体）
石田 吉田（日女体） 2（17―18 17―14 15―5）1 古谷 服部（日女体）

▽準決勝

西尾 秋本 2（15―9 15―2）0 陣内 山森
石田 吉田 2（15―3 15―3 15キ0）0 佐伯 谷

▽三位決定戦

陣内 山森 2（キ）0 佐伯 谷

▽決勝

西尾 秋本 2（15―5 15―4）0 石田 吉田

【評】決勝は両ペアともイキがピッタリと合い、好試合が期待されたが、結果は一方的だった。西尾・秋本は終始、積極的に攻撃し、まさに〝攻撃は最大の防御〟ぶりをいかんなく発揮し、最後までつけ入るスキを与えず、押し切った。

（関東学連　河崎雪子）

Bブロックも熱戦を展開

二部制で成功のメド

◇Bブロック男子シングルス

▽三位決定戦

古屋（横国大） 2（15―11 15―2）0 小沢（北海学園）

▽決勝

小野寺（北海学園） 2（15―1 12―15 15―12）1 菅原（札教大）

◇Bブロック女子シングルス

▽三位決定戦

小野 2（キ）0 小宮（大妻大） （埼玉大）

▽決勝

横須賀（大妻大） 2（11―8 11―3）0 越原（桐朋大）

◇Bブロック男子ダブルス

▽三位決定戦

市原 近藤（日大） 2（15―3 10―15 15―7）1 有川 磯村（一橋大）

▽決勝

江藤 増田（東大） 2（15―5 15―10）0 市川 野中（東大）

◇Bブロック女子ダブルス

▽三位決定戦

三井 川崎（日体大） 2（11―15 15―7 15―10）1 岡崎 見島（共立大）

▽決勝

神山 佐藤（群馬大） 2（18―16 15―12）0 太田 杉山（明学大）

【大会をふりかえって】大会を開催するにあたり、いかに盛り上げるか、衰退しつつある東日本大会をいかに盛んにするかが今回の課題であった。事前に北海道・東北・関東の各学連を集め、最も参加しやすい日程を選ぶとともに、各学連の協力、大学への呼びかけをお願いした。また、レベル差をなくし、参加しやすいように、初めてABの二部制をしいた。そして、あまり長い日程にならないように、初日と最終日を除く日を二会場に分け、五日間に短縮した。

しかし、期待に反し、北海道勢11名、東北勢20名と少なかった。その分、関東勢600余名と、二部制もある程度成功したように思う。次回の大会（北海道で開催）に期待したい。

試合は、シード選手が次々と敗れる番狂わせが続出した。この傾向は特に女子に多く、前回の覇者、準優勝者が、早々と敗れ去った。会場が暑く、スタミナの勝負となったこともその一因であったろう。特に大会四日目は、単複ともに勝ち残ると5試合をこなすことになった。しかし、それに耐えうる体力の養成をしていてほしかった。

しかし反面、他の選手が奮起し、学生界の層が厚くなった点は嬉しいかぎりである。

（関東学生バドミントン連盟）

大会ウラバナシ

各学連で相談のうえ、日程を決め、体育館の確保をはかったが、千代田区立総合体育館を三日間しか確保できなかった。それが、三か月前。

サァこれではタイヘン！と大あわて。しかし、現在東京都の区の体育館で長期間の大会は全くムリ。そこで、都内を手分けして歩き回り、どうやら四会場を決めたわけである。それに加え、四月末のゼネストと重なり、都内を数時間歩き回った者もいたとか。

☆

大会初日、うっかり優勝トロフィーを落としてしまった！拾い上げてみると、なんとラケットと首がポッキリ……。

今大会で使用した四会場のうち、冷房が完備しているのは、千代田区立総合体育館のみ。東京でも冷房の完備している体育館はそうザラにあるわけではない。

折りからの猛暑のなか、選手はもちろん、応援の人たちにも大好評だった。

しかし、ご承知の方も多いかと思うが、空調をすると、風が起こってシャトルのフライトに微妙な変化を起こす。それを気にした選手もいたが、少しくらいの風なら涼しいほうがいいじゃないか、という声がどうも大きいようだった。

手をつなぐ

…“復帰記念”特別国体



愛知、香川が栄冠飾る

バドミントン　地元は男女ともベスト4に

◇一般男子

▽1回戦

愛知2（複1－0／単1－1）1福井
滋賀2（複1－0／単1－1）1山形
沖縄2（複0－1／単2－0）1島根
栃木3（複1－0／単2－0）0宮崎

▽準決勝

愛知2（複1－0／単1－0）0栃本
滋賀2（複1－0／単1－1）1沖縄

▽決勝

愛知2（複1－0／単1－1）1滋賀
○本間（15－4）藤原
松島保（15－6）藤上
松島保（8－15 12－15）藤原○
○本間（15－15 15－13）藤上

◇一般女子

▽1回戦

石川3（複1－0／単2－0）0鳥取
香川3（複1－0／単2－0）0千葉

奈良3（複1－0／単2－0）0岩手
沖縄3（複1－0／単2－0）0佐賀

▽準決勝

香川2（複1－0／単1－0）0石川
奈良2（複1－0／単1－0）0沖縄

▽決勝

香川2（複1－0／単1－0）0奈良
○井上（15－12）柿本
菌浦（15－1）焼田
○田所（11－7 11－3）三浦

沖縄の本土復帰を祝う〝沖縄特別国体〟はゴールデン・ウイークの五月三日から四日間、全国の代表、21競技三千三百余人を迎えて行なわれた。

番外の国体とあって各競技ともに参加者は通常の大会よりも少人数に抑えられ、バドミントンは一般男女の2種別だけ。地元沖縄だけは両種別に出たが、あとは北海道を除く全国7ブロックから男女それぞれ1チームずつの参加。延べで15県、計64人の選手団という〝ミニ版〟だった。

会場は沖縄本島ではなく石垣島の石垣市八重山高校体育館。沖縄はこの日に備えての選手強化の実をあげ、男子は島根、女子は佐賀をくだして準決勝に進んだ。しかし〝発展途上県〟とあって、結局、本土勢をしのぐまでには至らず、男子はトヨタ自工勢の愛知が滋賀を、女子は琴平電鉄勢の香川が奈良を退け、それぞれ優勝した。

スタンドには「バドミントンは生れて初めて見る」人もつめかけ、連日、満員の盛況。一気にバドミントン熱が上がったが果して石垣島の〝余熱〟が沖縄県全体にうまく広がるか、むずかしい問題も残されている、とのこと。

本土，沖縄とがっちり

紺碧の空の下，友情の火，燃え上がる……

汗だくで歓迎 「おうりとうり」

○…石垣空港には市実施本部の接客班による湯茶接待の天幕が並び、選手団がおり立つごとに桃原市長ら市本部役員が整列「安里屋ユンタ」など八重山民謡が流れるなかを、遠来の選手を迎えた。

石垣市は二日正午すぎ、ことし最高の30度を記録。タラップを降りる選手たちは、いずれも強烈な日ざしにびっくりした表情。半ソデのスポーツシャツにラケットという気軽な服装だったが「暑い、暑い」を連発、早早に宿舎に向かった。

石垣市内は競技開始前日になって、やっと総仕上げにかかったところ。〝おうりとうり〟（ようこそ、いらっしゃいませ）を合言葉に、若夏国体の旗、歓迎の横断幕などが通りにはためき、競技会場の八重山高校正門には、歓迎アーチの設置が終わった。

しかし、フラワーポットのグラジオラスが、すっかり咲き終わってしまい、あわてて月桃、はまゆうなどの野生草花の植え換えに忙しい一幕もあった。「ともかく選手にいやな気分を味わせないように」と石垣市職員あげて最終準備に大わらわ。

（5月3日・沖縄タイムス）

見る人も鍛練 されてますネ!?

○…バドミントンは完全な室内競技。会場の八重山高体育館は試合中、窓が閉め切られ、暗幕で外光をしゃ断、また、風が起こるということでクーラー、扇風機も使用禁止という完全密閉状態で熱戦が続いた。

市実施本部は、室内の気温が37度以上になると予想、競技の〝異常さ〟を少しでもやわらげようと、三日は市水道課員を午前六時に出勤させ、市販の長さ約50㌢の氷柱二十本余を観客席に設置〝冷気〟を送り込むことに躍気だった。

この日の観衆は、県チームが参加する午後二時すぎには千人近くにふくれ上がり、会場はむっとする熱気でいっぱい。氷柱は溶けていくものの、一向に冷たくならない会場に、持参のウチワを盛んに動かしたり、あわてて外に出て一息。

竹富島から来たという主婦は「バドミントンは、見る人も鍛練されているんですね」と汗をぬぐっていた。

（5月4日・沖縄タイムス）

ひゃー、こんなに スピードがあるとは

○…石垣市のバドミントン会場は連日ほゞ満員。延べ一万人近くが観戦した。いままでスポーツといえば野球、バレー、陸上などで、バドミントンの〝バ〟の字も知らない人が多かった。

しかし、鋭いスマッシュやヘアピン・ショットの応しゅうに「速いなあ。こんなにスピードがあるとは驚いた。」「迫力があるわ。面白そうじゃない」と、

若夏国体 ……大会こぼれ話……

この三日間で小さな子供から小中高校生、おばあさんまでがすっかり魅了されたようだ。

家に帰って、さっそく、路地の石垣に縄を張ってラケットを振る子供たちもあちこちに見受けられ、人気は日ごとに高まっている。

（5月6日・琉球新報）

フィナーレで 八重山情緒を満喫

○…バドミントン競技は、五日午後二時の表彰式で全日程を終了、引き続き八重山高グラウンドで行われた華やかな集団演技でフィナーレを飾った。

集団演技は若夏国体石垣市実行委主催で、選手団や役員の労をねぎらい、八重山の民族芸能を大いに楽しんでもらおうというもの。

演目は市内四カ学合同の旗頭の競演、幼稚園児の旗行進、各婦人会による舞踊、シシ舞い、棒術などで、十二団体、千三百人が、グラウンドいっぱいに熱演した。

つめかけた観衆は数千人、各県の選手団や国体役員もくつろいで観賞、繰り広げられる演技に、盛んな拍手を送ったり、また旗頭やシシ舞い、棒術の珍しい芸能をカメラに収めていた。

最後に石垣市の国体実行委員長の桃原市長が「全日程を無事終えることができた」と、つめかけた市民にお礼を述べた。

（5月6日・琉球新報）



れど波高し

― 会場地 ―

果して沖縄に芽吹くか

若夏〝よもうみ〟ばなし

――特別国体・余聞――

日本協会副会長

森友徳兵衛

〔八重山大会から――〕

昭和四十八年五月二日から五日まで八重山で、沖縄復帰記念特別国体が盛大に催された。会場の石垣島を始め近隣の竹富（タケトミ）西表（イリオモテ）与那国（ヨナクニ）などの各町が力を合わせ、中でも石垣市は市長みずから陣頭に立って、全市職員は大会運営のため努力を尽くした。

屋外二十七度は、現地の人にとっても、やはり相当暑かったように拝見した。NHK総合TV一本が、しかも7時間遅れのビデオ放映が、毎夕の憩いである人達は、今迄にバドミントンの試合を見たことがなかったかも知れない。

あるいは、公式競技会の開催運営に携わったことはなかったに違いない。台湾に最も近い与那国島では、高千穂の山頂が見える日もあるという。鹿児島、沖縄を船便で十六時間。沖縄、八重山は、中に宮古をはさんでほぼ同じくらいの時間を必要とする。

飛行機なら確かに那覇、石垣は直航一時間二十分であるものの、大半が、交通を海路にゆだねている現在では情報、資材の面から見ても大変なご苦労だったことは私の想像に余りある所である。

よくあれ程の、立派な競技会をやって下さったと、全く頭が下がる。参加の選手監督も大会運営に心から協力的であった。一億の念願であった復帰の喜びが、選手達の真面目な、力あふれる熱戦好戦となって、祝福をコートの上で表現したことを思っている。

われわれスポーツマンの祝福の表現として、このことこそ、何にも増してすがすがしいものであったと喜んでいる。全員もれなく、地元の要望に応えて、終了式に参列したことも、NBAの大会史上初めてのことであったと思う。

当市の人口は四万と聞くが、観戦希望が異常に多くて、県協会は一対抗試合ごとに、換気をかねて観客の全員入れ替えを採択した。

対抗戦が終わるたび、新しい観客――学生、生徒、会社員あるいは老夫婦が、眠を輝かして整然と着席した。全日程を通して、子供達を含めて競技をよく理解し、負けている方が得点するときは、応援の拍手が一段と大きかった。人口の半分約二万名が、幸にも入場を割当てられて観戦したと伝えられる。

競技会は、やはりト杯代表の本間君がひときわ光を放ったがこれは当然。次に沖縄男女チームの健斗が目立っていたが、地元とはいえ、最後の1点までくい下がっていった気魄を、是非いつまでも忘れないでもらいたいと思う。

石垣にまいた競技会三日間のタネは、茅をふくであろうか。きっとしばらくの間は、家並の間で、シャトルを打つ音が聞かれよう。しかし彼等のいう〝本土〟と会場とは、余りにも遠く波は高い。私はちょうど十数年前の日本を思い出した。

海をへだてた日本から見るとタイ、マレーシア、またデンマーク、イギリスなどは何と恵ま



天気晴朗な

— 本土 — 本島

白いシャトルのタネは



れていることか。NBAは全会員の努力で、このハンディを克服しつつ、今日を築いた。このことを、沖縄県協会にお願いしたいという気持を、改めて痛切に感じたのである。

〝海外旅行よりは、何といっても、国内旅行は安いのですからね〟というのが、私の口にできる、沖縄県会長稲福博士への精一杯の言葉であった。沖縄BAの将来の発展について、並たいていの努力では、目的が達成できないであろう。沖縄、特に石垣を訪れた各県協会の指導者は、私と同感であるに違いないし、そのための協力は惜しまないことを、きっと心に刻んでいることと信じている。

〔本土、沖縄、八重山——〕

八重山では〝沖縄に行った〟と、いう。那覇のある本島のことを、沖縄というのだが、われわれ訪問者は、沖縄県という頭があるため一瞬とまどう。考えて見れば、八王子や青梅の人が「東京に行ってくる」というのによく似ているので、なるほどと思う。

沖縄の人は〝本土〟といい、北海道の人は〝内地〟と呼ぶ。これもまた、何となくニュアンスの違いが判るような気がするこの本土と沖縄の間に、ある歴史的な相違点が横たわっていることもわかる。しかし、沖縄と八重山の間に、本土と沖縄とのような相違点をもまた感じられたのは、妙な具合であった。

薩摩と琉球、琉球王朝と離島という、昔からの関係が、大きな近代的変化をうけている現在にせよ、生活のどこかにひそんでいるように感じた。別の見方で見てみると、沖縄全部について、昭和二十年から四十七年までの、四半世紀の間のフィルムのコマが、止まってしまっていたような、何かその間の日本の復興と進歩から、取り残されていたのではなかったのか、という、チョッピリ責任めいたものを感じたのである。

とにかく右側通行から修正するのが、第一着手のように思われる。

〔桃原（トウバル）さんの石垣——〕

桃原市長は社大党のよしで、全島の信望を得ている立派な方であった。自然がこわされつくしていない、人心の温かな、かって龍宮城の物語りとされた別天地で、市民から慕われ、常に市のことのみを考える立場の市長さんは、人間の幸せを、職能で表現したそのもののように感じた。

石垣は空気が澄み、水はすばらしくよくおいしい。どんなに吸っても飲んでもタダだ、と歓迎の席で、ユーモアたっぷりのお話をされた。戦禍を免れたが過去、大津波に見舞われた歴史があるようだ。

石垣に今も残る代官屋敷（王朝時）の古めかしさと対象的に展望うるわしい川平（カビラ）のリゾートホテルが、おいしいコーヒーを出した。会場に石井日本体協会長、また五十年開催の沖縄海洋博覧会会長の大浜信泉先生ご夫妻をお迎えした。

TVの架設は、その折までに完成するだろう、というのが、私のつかんだ嬉しいような、待ち遠しいような情報であった。われわれが勝手にチャンネルを選ぶこと、この簡単なことが、公営放送一本しかない、この地の人にとって、どんなにうらやましいことであるかを、身にしみて感じたのは、私だけではなかったことだろう。

自然の海のアオ、空のアオ、山のアオは、一面の糖キビとパイナップル畑は、しだいに本土資本に犯されているという。文化の進展に当たって、破壊は必要悪であるのかもしれない。しかし、残念なことだと思う。

せめて地元の資本で近代設備を整えて欲しい、と私は尊敬する市長にお願いし、われわれ訪問団と地元役員団の、八重山空港での万歳の交換を最後に、特別国体バドミントン競技は、本当に終了したのである。

特別寄稿

沖縄特別国体に参加して

石川県一般女子選手団

監督　奥村明義
選手代表　松田京子



5月2日14：30　東亜国内航空プロペラ機で奄美大島から開催地石垣島へ向かう。プロペラの振動は電気マッサージ。その一定の振動がいつの間にか子守唄となって、全員睡眠にはいっていく。

5月3日・開会式　開会式はいつも私を一番感激させる。いつも思うことは決まっている。〝ああ、今までつらかったけど本当にやってきてよかったなあ。自分は本当に幸せだなあ〟と思う。このために頑張ってきたんだなあと私は思う。

一回戦、鳥取県に3－0で快勝。

5月4日・準決勝、やはり香川は強い。完敗だ。

終了後、石垣島西回りの観光を楽しんだ。タクシーで四千円。

5月5日・決勝戦（男子）を観戦する。愛知の本間順次選手のプレーをみて、大いに勉強する。

ミニファンからサインをねだられ、慣れぬことゆえ石川県選手団はとまどい気味。ハンカチ、帽子、手帳、扇子、スカーフ、ラケットなどにサインするが、手がふるえて……。

バドミントン競技閉会式　開会式も感激しましたが、閉会式ではまたまた感激しました。

本当に石垣島の人たちの心からの歓迎には涙がにじみます。太陽と緑、海と空の石垣島の自然、そしてそれと同じように人人の暖い気持ち。

いつもはホームシックにかかる私なのに、この島に来て家庭的な雰囲気につつまれながらの生活は幸せだった。

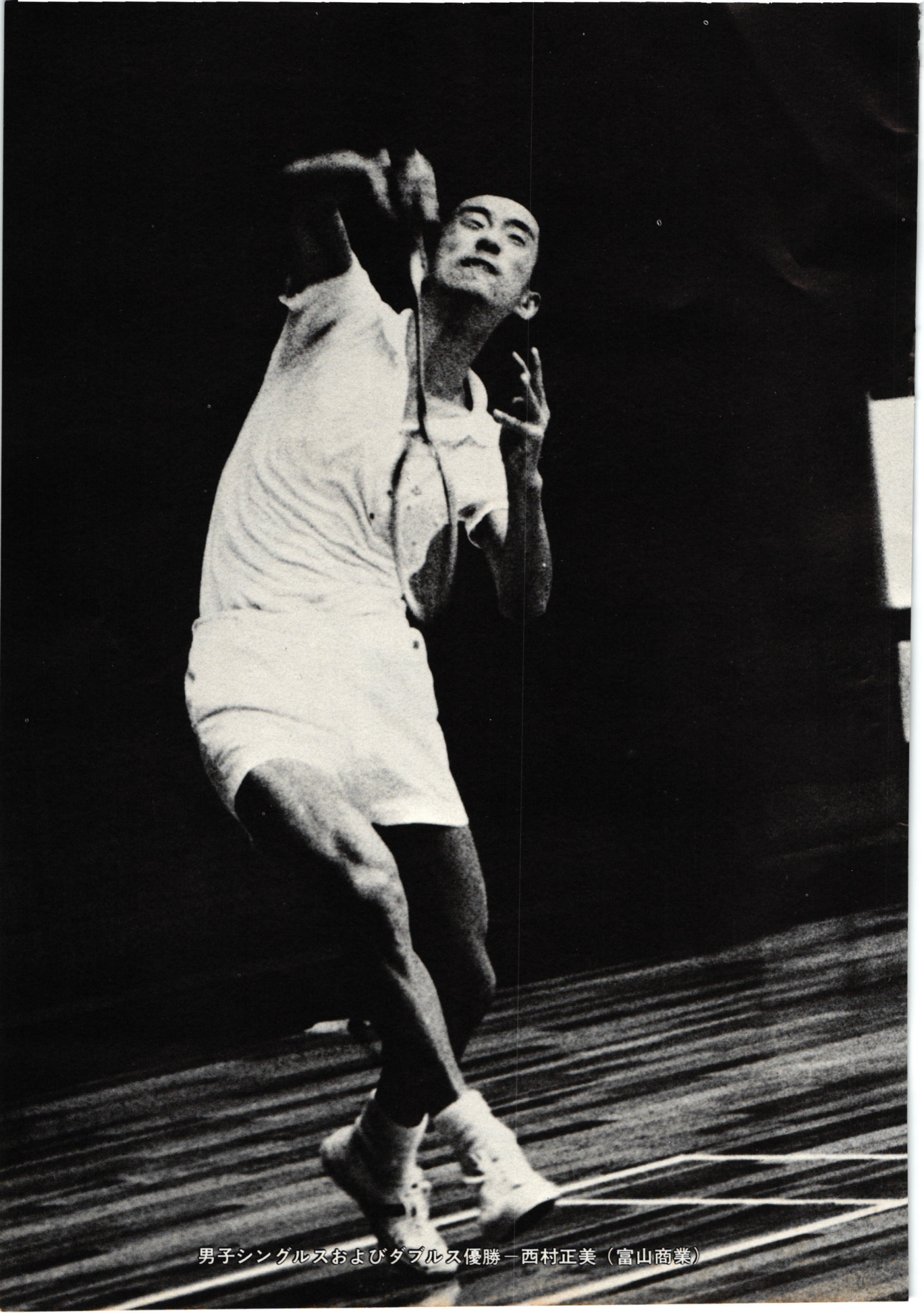
バスから手を振りながら私の目には、感激と寂しさの涙が光っていた。石垣島でバドミントンが行なわれてよかったと思う。私の印象は何といっても、やさしい情の深い人々、これが石垣島の人なのだという一言に尽きる。

本当にありがとう、ありがとうと叫びたい。私たちはこの感激を胸に一生の思い出にしたい。そして、心から石垣島の人人のご健康を祈りたい。

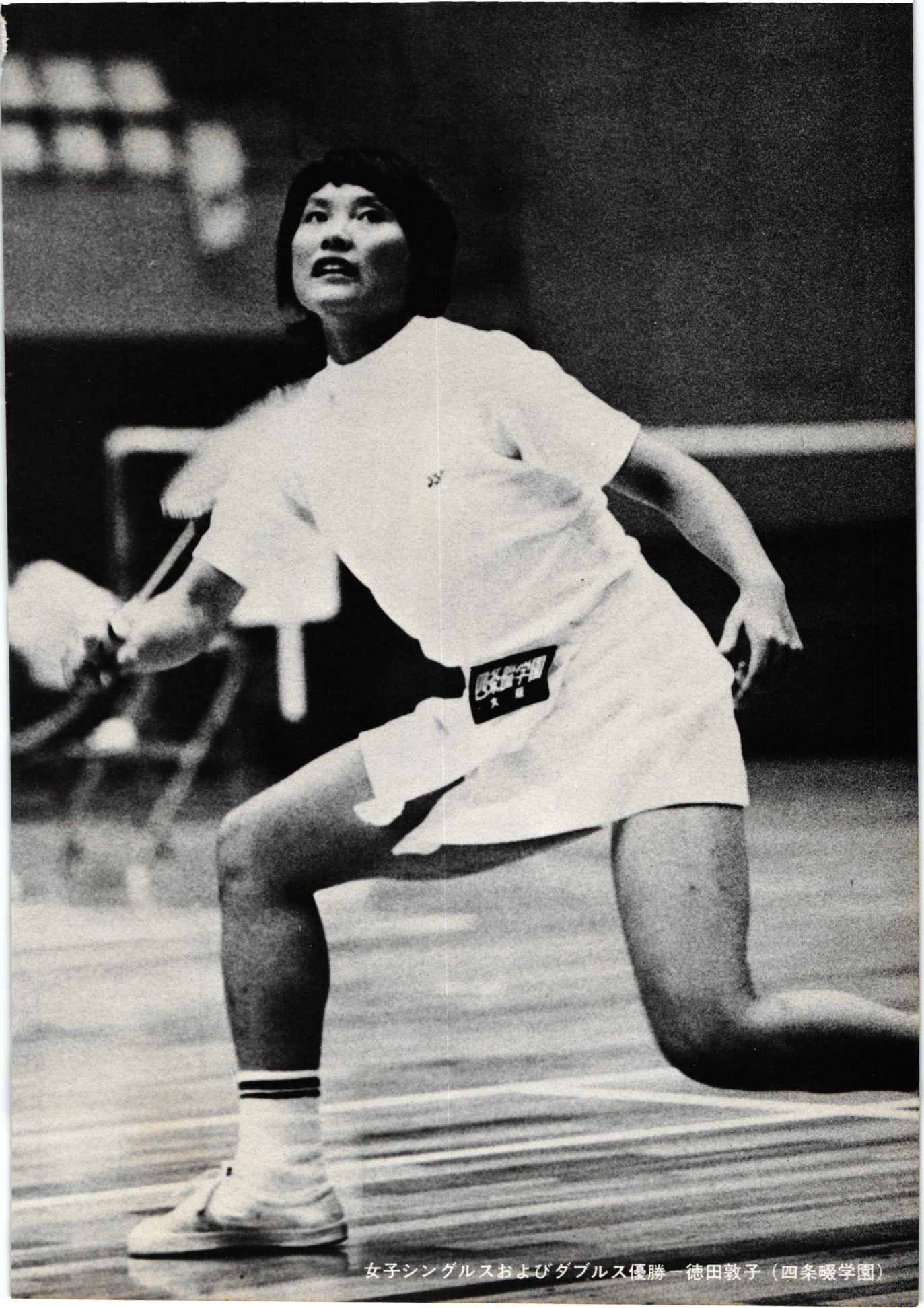
――一生のうちの一週間の旅。私たちは貴重なすばらしい経験をすることができました。

生まれてはじめて乗った飛行機。窓に広がる雲海は夢のように私の目に写った。そして希望と不安のうちに着いた石垣島。市民の心、暖かい歓迎、石垣の町の南国の趣き、体育館での練習、試合会場の満員の観衆、拍手、負けたときのくやしさ、そして楽しかったこと、など南国での思い出を胸に無事に金沢にもどった。

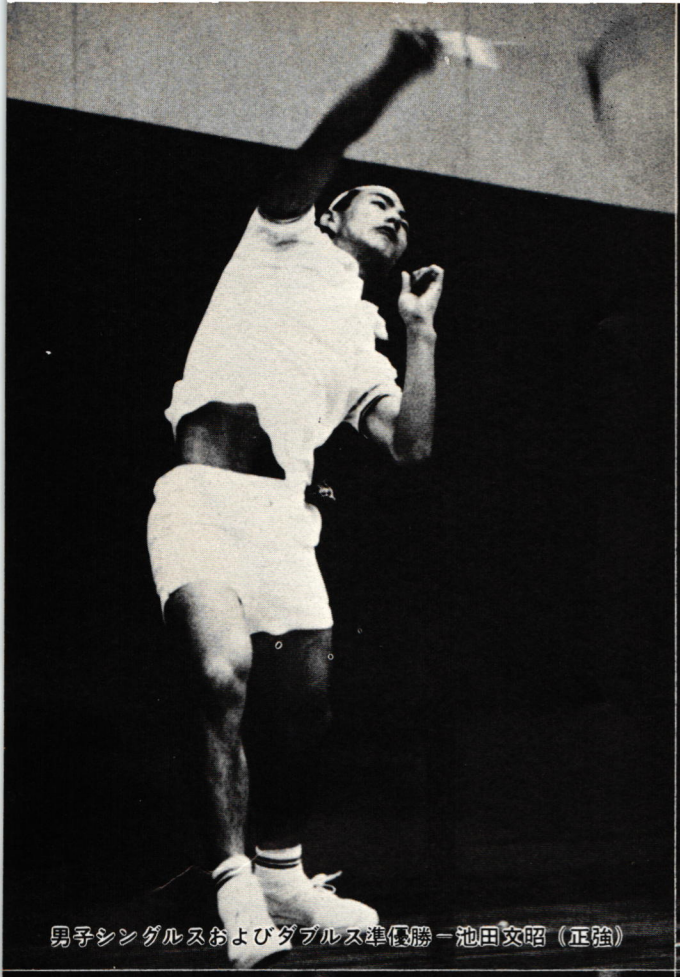
――この記事は、読者の方からお送りいただいたものです。どうぞ、ふるって〝ナマの声〟をお寄せ下さい。（編集部）



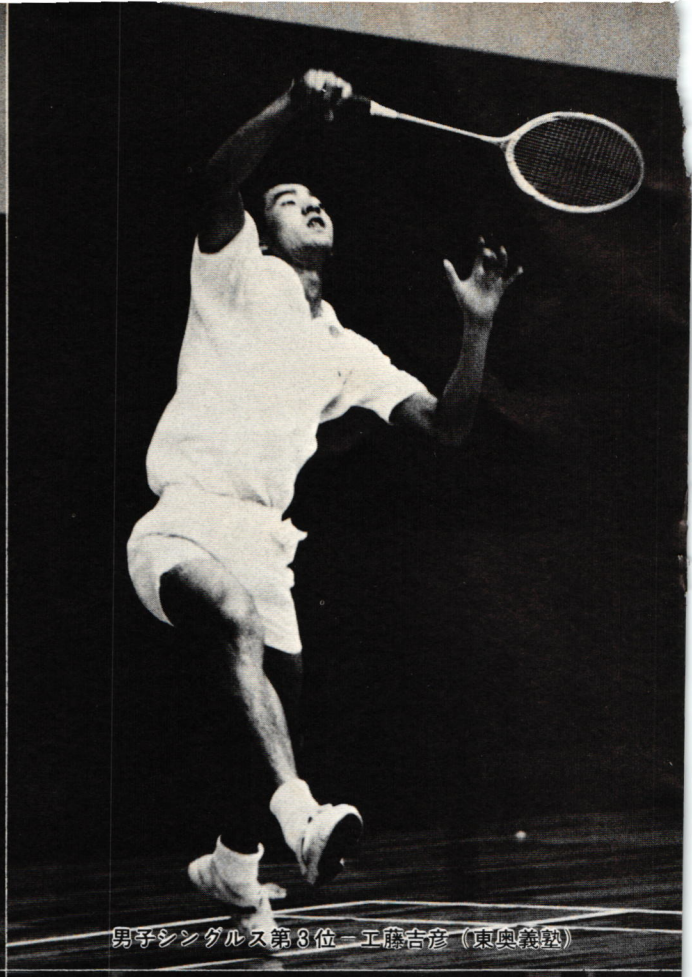
男子シングルスおよびダブルス優勝―西村正美（富山商業）



女子シングルスおよびダブルス優勝―徳田敦子（四条畷学園）



男子シングルスおよびダブルス準優勝－池田文昭（正強）



男子シングルス第３位－工藤吉彦（東奥義塾）



男子シングルス第３位－辰巳秀雄（奈良一条）



男子ダブルス優勝－梶川博之（富山商）



8月1日、伊勢市で行なわれた総合開会式

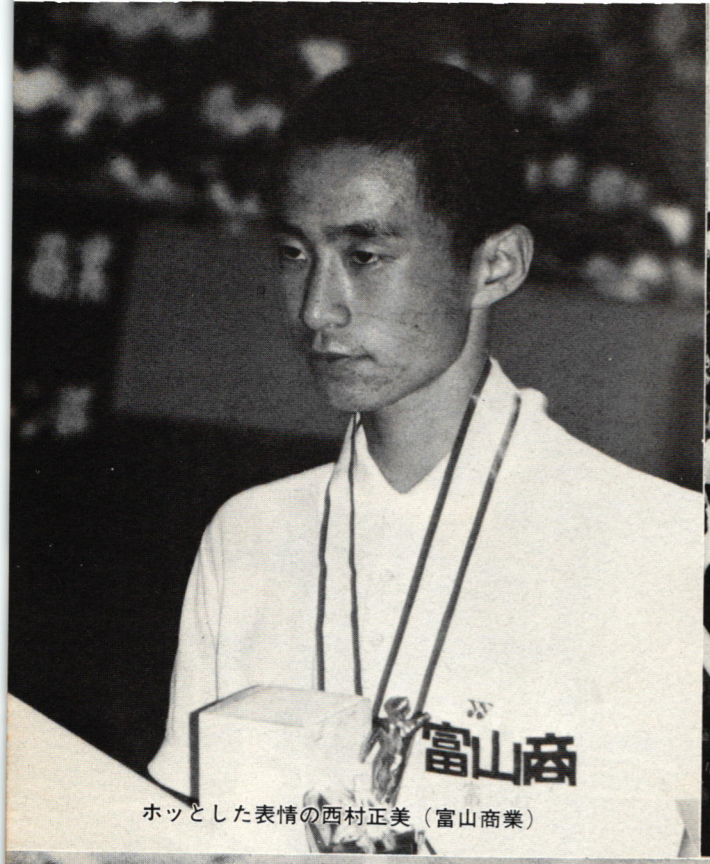


感慨深げな表情の徳田敦子（四条畷学園）



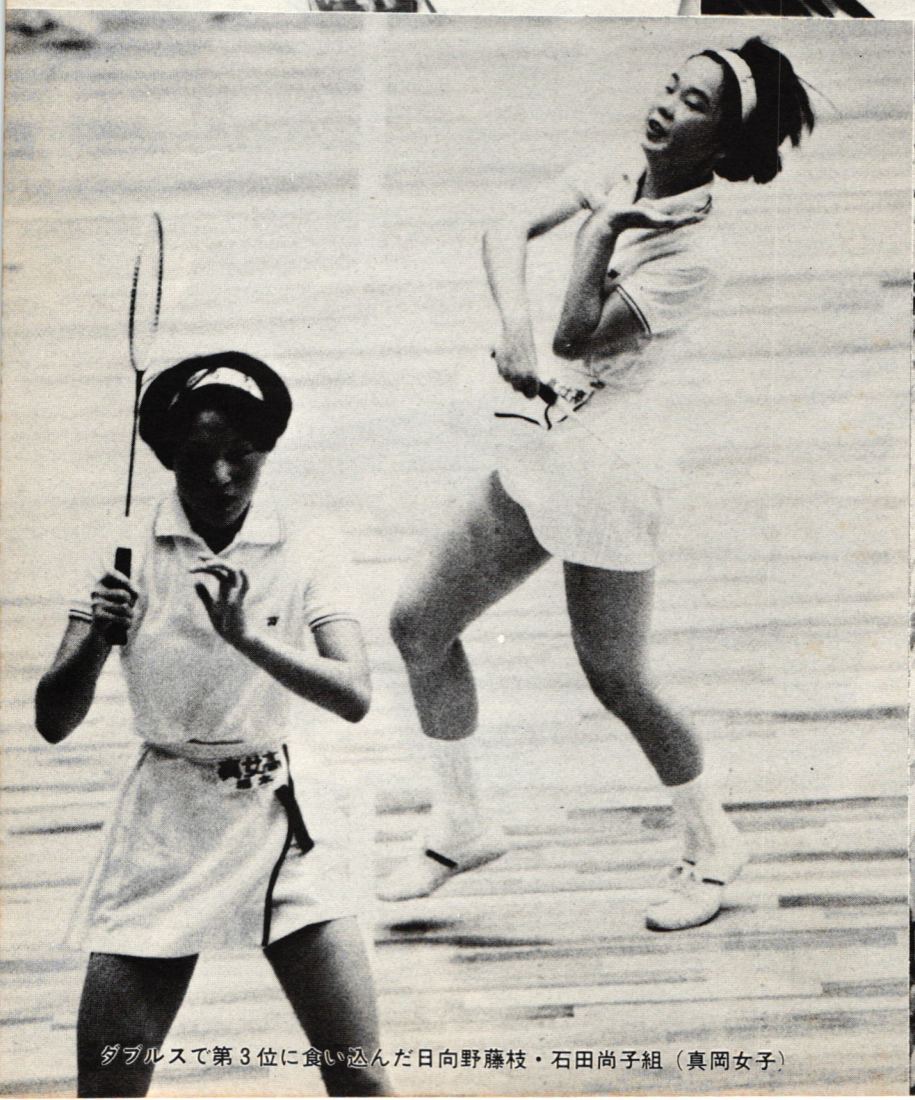


団体戦でベスト8に進出した地元伊勢工業



ホッとした表情の西村正美（富山商業）

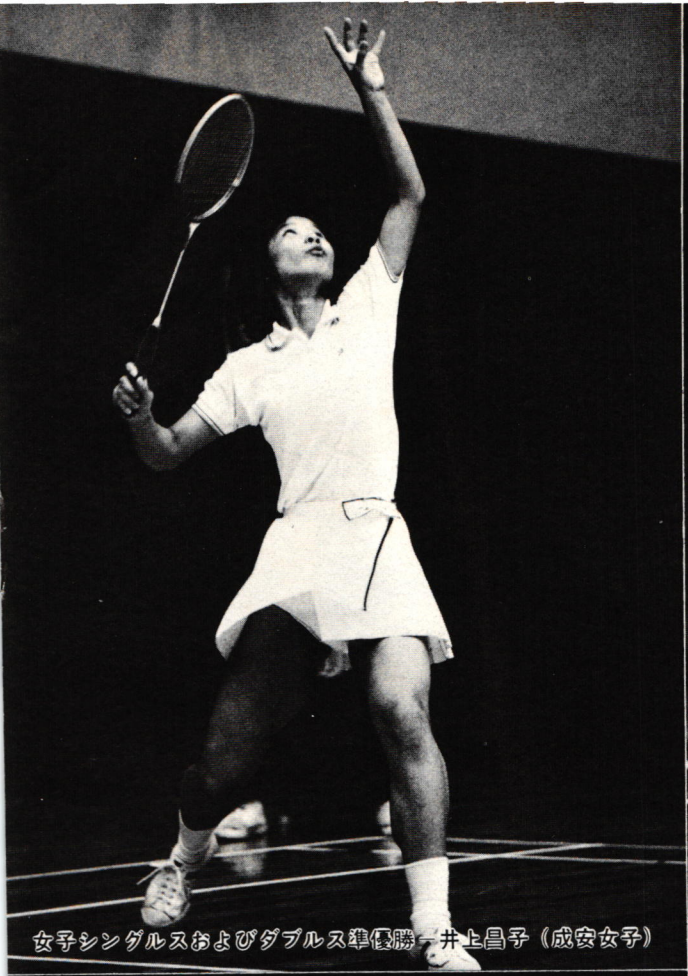




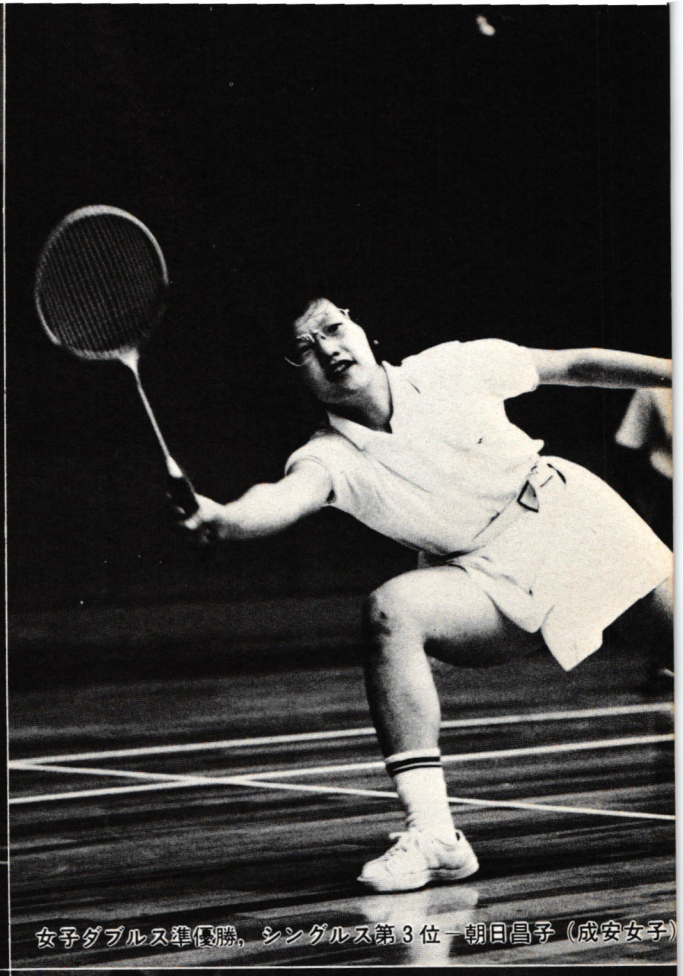
ダブルスで第３位に食い込んだ日向野藤枝・石田尚子組（真岡女子）



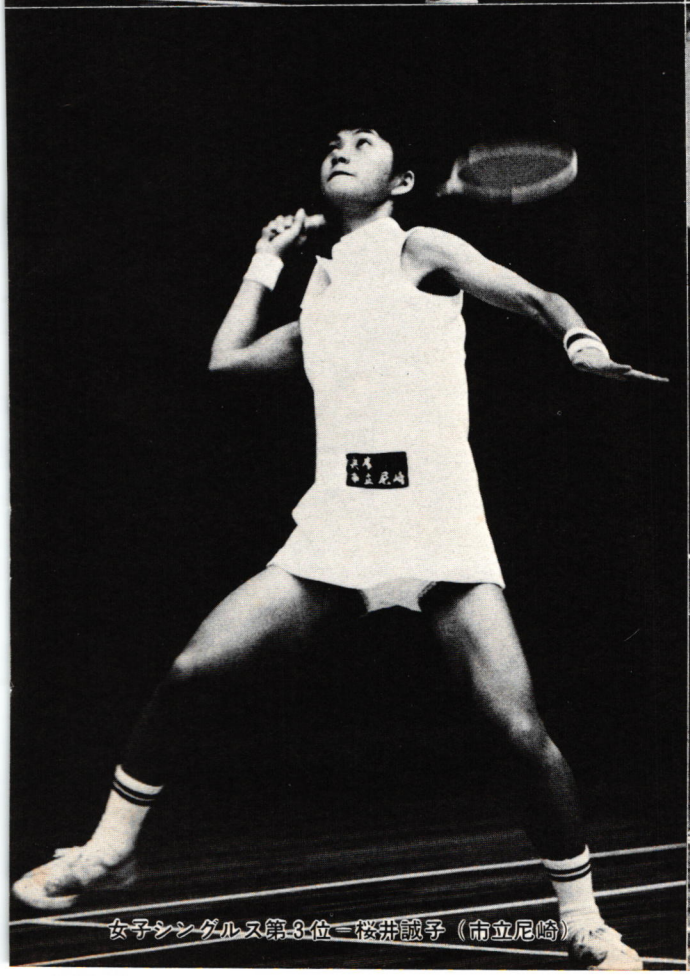
四日市市体育館での熱戦のようす



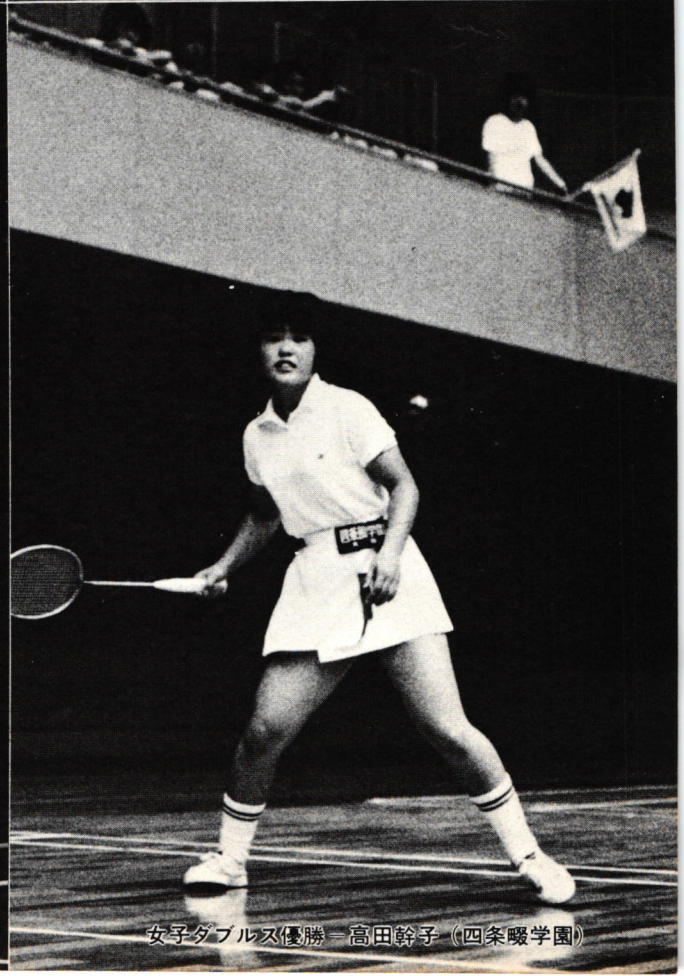
女子シングルスおよびダブルス準優勝－井上昌子（成安女子）



女子ダブルス準優勝，シングルス第３位－朝日昌子（成安女子）



女子シングルス第３位－桜井誠子（市立尼崎）

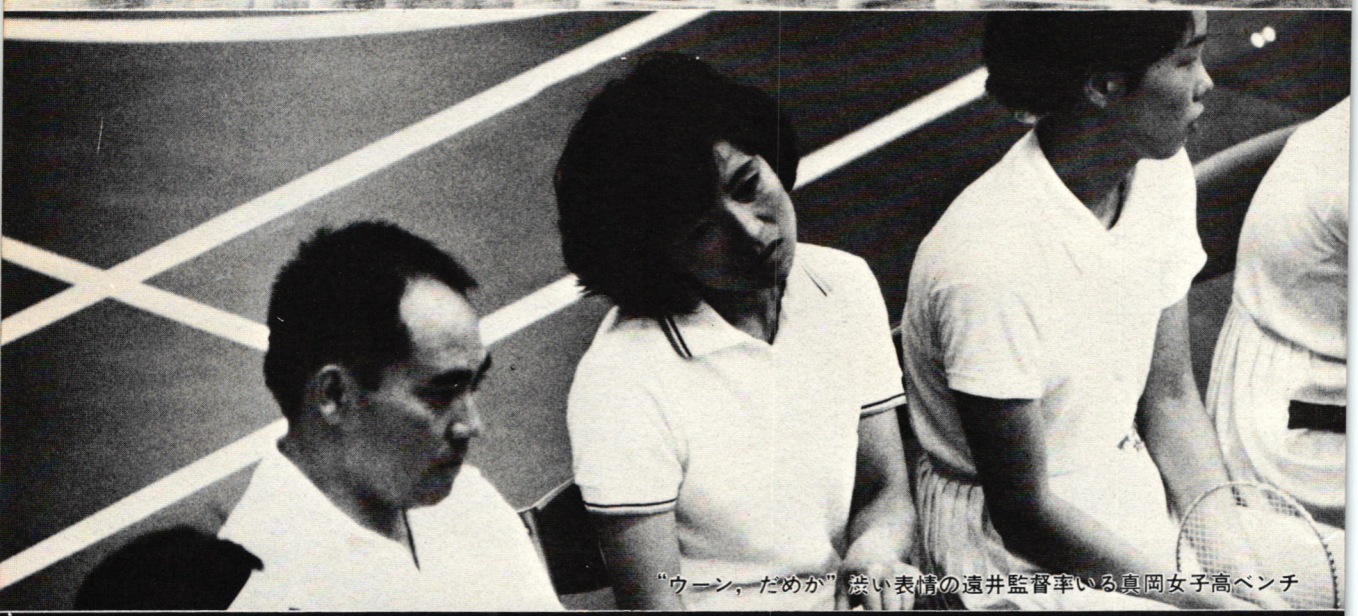


女子ダブルス優勝－高田幹子（四条畷学園）

選手のプレーに，ベンチは一喜一憂



“ウァー，ヤッタヤッタ”大喜びの善通寺第一高ベンチ



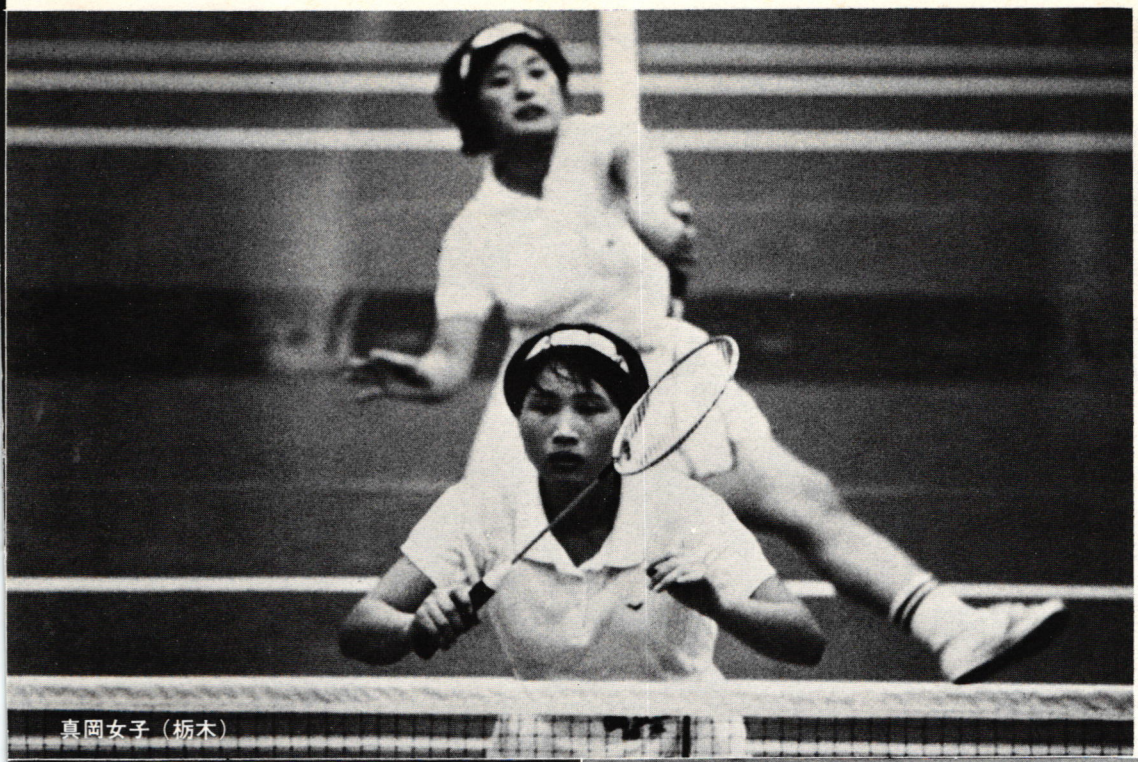
“ウーン，だめか”渋い表情の遠井監督率いる真岡女子高ベンチ



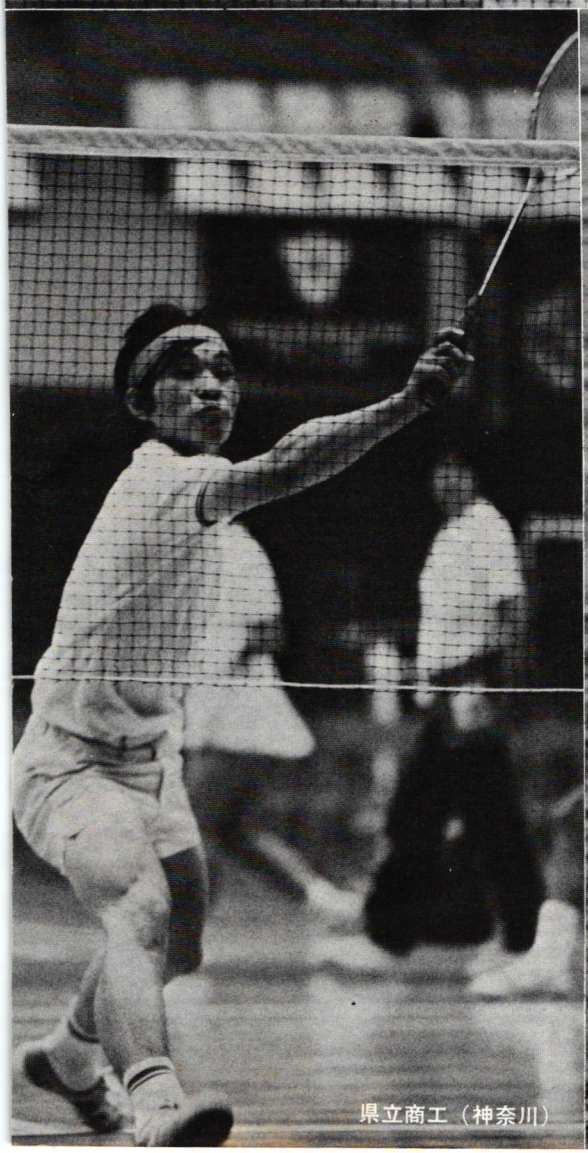
“さあ，もう一本”追い上げムードの山陽女子高ベンチ

これがインターハイの〝魂〟だ

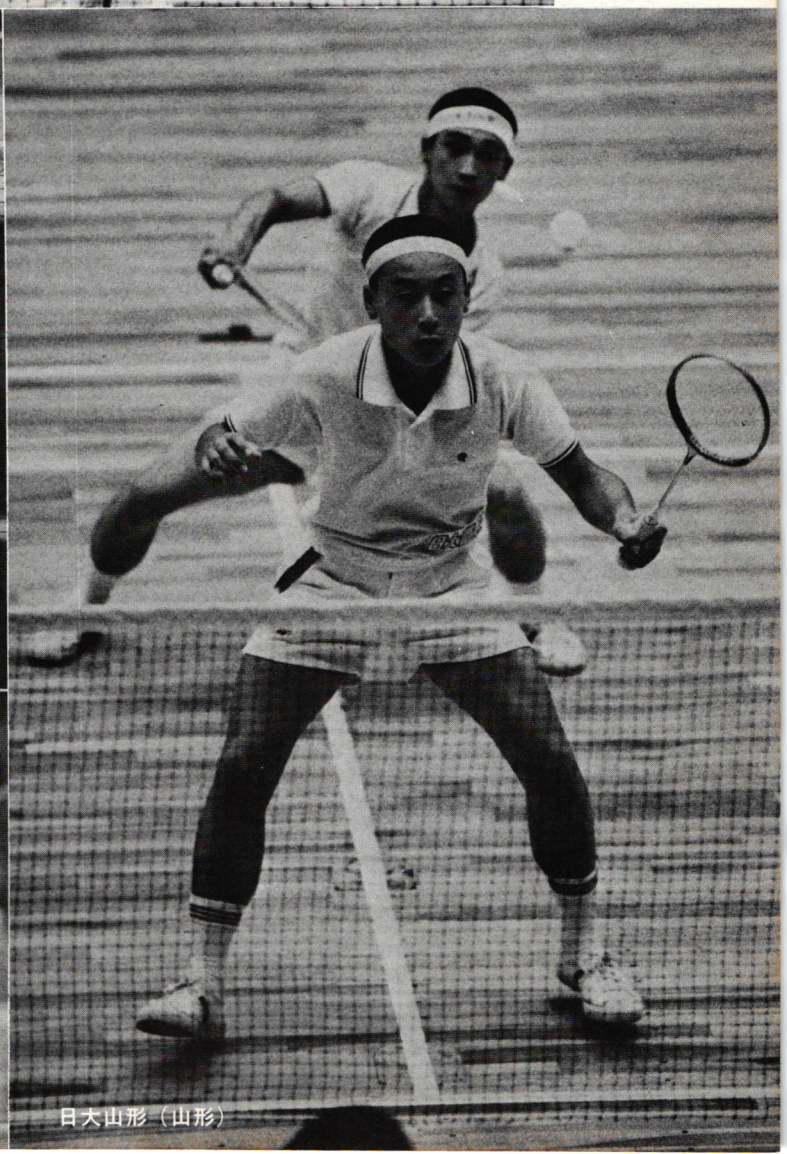
――いつ観戦しても、高校生の真剣でまじめなプレーは気持がよいものです（小島一平）



真岡女子（栃木）

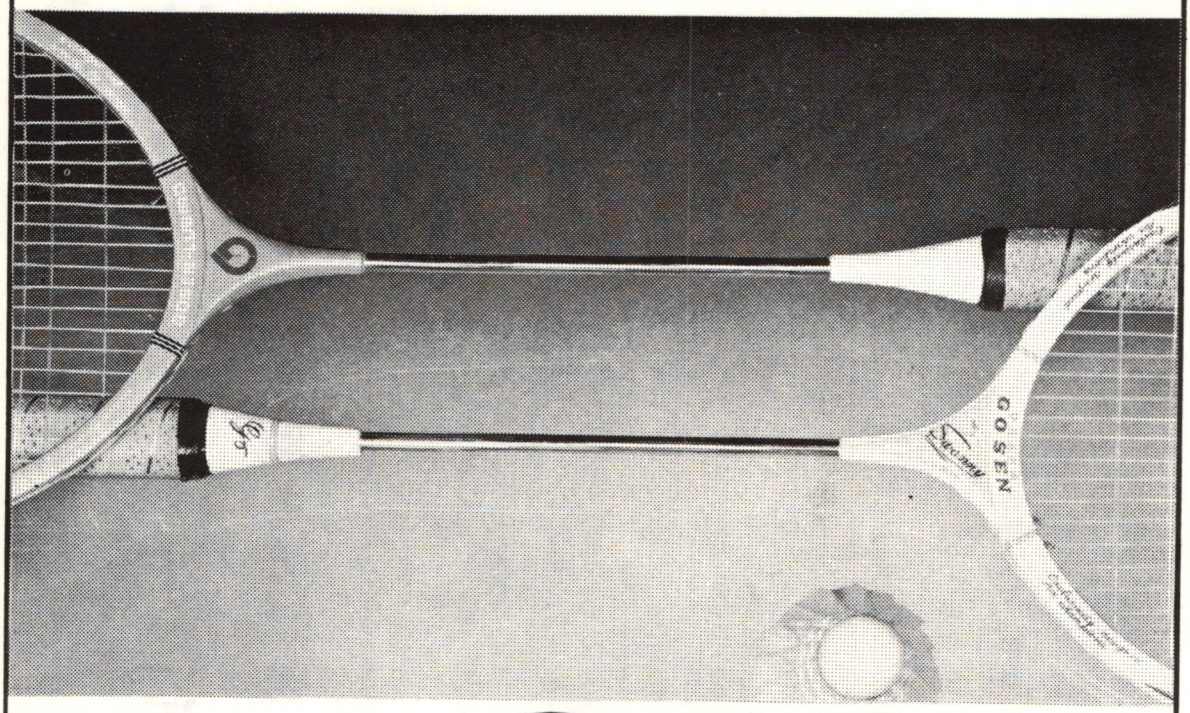


県立商工（神奈川）



日大山形（山形）

精緻。俊敏。この確かな手応え。
ロング・テーパード・シャフト。



LUBIRD & SWANNY

Gosen Badminton Racket



特殊合板の力強いフレームと、
従来のものよりさらに長くなった
クローム・テーパード・シャフトの強靭性
が強力なバイブレーションを生み出します。
ゴーセン・ルバード、スワニーのロング・シャフトコンビ
が逞しいラケットワークを可能にし、世界のバドミントン
界を陵駕し、そのシャープで逞しい手応えを披露します。

●No.B65ゴーセン・ルバード〔フレーム〕……¥3,800
●No.B60スワニー〔フレーム〕・タオルグリップ付…¥3,800

株式会社ゴーセン
本　　社・大阪市東区豊後町4　☎(06)942-5816〈代〉
東京営業所・東京都台東区鳥越1-26-1　☎(03)862-6576〈代〉

—百万人のトレーニング入門⑦—

練習すれば男子に近づくが

女子の運動能力は男子の8～9割

「ハードル競技や走り高跳びなどは、女子の健康に害があるから禁止すべきだ」——こんな話を聞いたら、おそらく、あなた方は吹き出すに違いありません。けれども、これは実際にあった話です。いまから十五年ほど前、東南アジア某国の、日本でいえば厚生大臣に相当する人の発言でした。

いま時分、もはやこんなことをいう人はいないでしょう。しかし、現にアメリカでは「女子にとってバスケットボールは激しすぎる」と、コート半分だけを使い、しかも、攻める側と守る側にはっきり分かれて、シュートくらべをするような〝米国式〟が、まだ盛んに行なわれているそうですから、女子の体育やスポーツに対する考え方は、まだまだ千差万別かもしれません。

しかし、女子には男子と違った生理機能もあり、なんでも男と一緒というわけにいかないことも事実です。そこで、今回は女子とスポーツを、いろんな点から眺めてみます。主として参考にしたのは石河利寛「スポーツとからだ」（岩波新書）です。

同じ競技や運動をやった場合女子の成績が男子に劣ることは確かです。別表は陸上、水泳の世界記録を比較したものです。（注、72年10月現在）このような単純な比べ方は必ずしも合理的とはいえませんが、大体のことがわかると思います。

跳躍とか投てきのように初速のスピード、筋力、瞬発力や技巧が問題となる種目では、女子は男子により大きく引き離されます。しかし、比較的単純な運動では、女子の能力は、男子の9割ぐらいあることがはっきりしています。

すでに水泳では、世界女子のトップが日本男子の記録をもしのいでいることを、皆さんもご存知でしょう。同じ比較でも、このように計画的なトレーニングを受けた最高レベルの人ではなく、ごく一般の人々を対象に比較すると、女子は男子の70～80%か、それ以下です。これはこのページの表〈壮年体力テスト・同一得点の男女内容差〉からも明白です。

この表は、皆さんもおなじみの、文部省が決めている体力テストの得点表を、同一得点で、男女にはどのくらいの内容の違いがあるかを示したものです。

以上の説明を逆にすれば「女子は練習をすれば、より男子の能力に近づく」といえます。さらに、これをもう一度、逆にしていえば「女子は運動しないとふとりやすく、そのために、ますます運動能力の低下を招く」のです。

これは主として、体の形態や機能の差から起こってきます。女子の体位は、身長、体重ともに男子の約90%です。しかし、体を構成している臓器の比率は別表のように必ずしも同じではなく、骨や筋肉の量が男よりも

水陸世界記録の男女比較

種　目	男　子	女　子	比　率
〔陸上〕			
100m	9″9	11″0	0.90
400m	43″8	51″0	0.86
800m	1′44″3	1′58″3	0.88
走高跳	2m29	1m92	0.88
走幅跳	8m90	6m84	0.79
〔水泳〕			
100m自	51″2	58″5	0.87
400m自	4′00″1	4′19″0	0.92
200m平	2′21″5	2′38″5	0.89
100m背	56″3	1′05″6	0.85

男女の臓器差

	男	女
全重量	100	100
骨	20	15
筋　肉	40	36
脂　肪	20	30
血　液	8	7
内臓他	12	13

壮年体力テスト同一得点の男女内容差

得点	性別	反復横跳	垂直跳	握　力	ジグザグドリブル
20	男	49点以上	61cm以上	55kg以上	13秒以下
	女	43	41	38	16秒以下
15	男	42	50～51	47	15″5～16″0
	女	37	32	33	18″3～18″8
10	男	37	45	42	18″4～19″9
	女	32	27	28	21″2～21″6

少なく、脂肪が多い。

筋肉は、いうまでもなく骨に付くものですから、これだけ考えてみても、男子の方が筋肉量が多くなることがわかる。ところが、女子は脂肪分が多い。このため男子のようには筋肉が発達しません。

一般に、運動すれば筋肉は太くなる（この講座でも述べたことがある）のですが、女子の場合には、かなりの強いトレーニングでも、あまり肥大せず、むしろ、脂肪がとれるため、スマートになります。この作用の違いには男女の性ホルモンが関係しているといわれます。

このため、女子の筋力は男子の約6割にすぎず、肺活量も男子の7割でいどです。思春期には、女子の体位が男子を追い抜くことがありますが、筋肉や呼吸循環機能では、そのようなことは、まずありません。

女子の水泳世界記録は 日本男子をしのいでいるが

では欧米の女子水泳選手が、日本男子よりもいい記録を出すのはなぜか。これは、もっぱら選手個々の体位と機能の違いによります。

トレーニングの質、量の違いも考慮に入れなければならないでしょうが、日本男子より体位においてすぐれ、しかも、心肺機能（技術が同一レベルとすると、水泳では、運動に使う酸素の摂取量が記録の優位を決める大きな要素といわれている）が上なら、当然、あり得るわけです。

しかし、バドミントンのように、投てきやボール投げに似た運動を反復するスポーツでは、よほどのことがない限り、女子が男子をしのぐとは考えられません。

数年前、相沢マチ子さんが文京区の大会で男子シングルスにエントリー、準決勝まで進んだことがあります。しかし、これは、ふだんの練習量やトレーニング、そして技術差のせいであり、ユ杯選手が全日本総合の男子に出たら、果して、一試合勝てるかどうか、ではないでしょうか。

十年ほど前、天下無敵、男まさりの卓球選手（世界チャンピオンになった）がいて「男とやったらどうか」議論が百出しました。関係者の結論は「インカレに出たら、ベスト16、うまくいって8」でした。

いくらスポーツをやっても 女子の〝男性化〟はありえぬ

むかしは「スポーツなんかやると、おてんばになって困る」といわれたものですが、それはともかく、どんなにスポーツをやったからといって、女子が男性化することはありません。

この一、二年、東ドイツの女子が水陸にめざましい活躍をしていますが、これは、筋力を高めるために特別な薬（男性ホルモン？）を服用しているから、といわれています。事実なら意図的な〝男性化〟ですが、やはり例外と考えるべきことでしょう。

生理時には一般的に身体機能が低下し、自律神経系の調節作用が悪くなることが知られています。記録や試合の結果も、まずよくないのが普通です。従って過激な運動や練習は避けた方が賢明ですが、それも個人差があります。逆に、スポーツによって生理が不順になる、という説も、ほとんど根拠はないようです。

○…**ツメで判断する**　健康な人の爪はきれいなピンク色。爪が白っぽいときは血液の循環不良か貧血ぎみのことが多い。爪に横ミゾが走るのは高熱を出すような病気で栄養が一時、極端に悪くなったとき、新陳代謝不調のときなどに現れる。縦のミゾは老化現象、栄養不良、過労、糖尿病、皮フ病などのせいで起こることが多い。

○…**天高くニキビ肥え**　気候が涼しくなると食欲が出て、脂肪分を多く含んだもの、肉類などを多く食べるようになる。しぜんにニキビがふえる。ニキビはストレスによっても起こる。そのほか、ニキビを防ぐには運動すること、新鮮な野菜を多く食べること、ビタミンB_2をとること。

からだ・健康・生活

○…**木の葉ばかりか毛髪も**　秋は抜け毛が多い。それで人生の無常を感ずる人も多い。原因は夏の間の不摂生。ソーメンや冷ムギばかり食べていると、毛髪に必要な養分がとれない。また暑さとホコリ、脂などのために地肌、髪が荒れるため。ストレスも原因になる。タンパク質や海草類は髪の毛によい。

○…**灯火親しみすぎると**　かえって目を悪くする。フトンの中で寝ながら読書をするのはよくない。一方の目が中心となって字を見るので、本との距離が短くなりがち。目がよけい疲れる。本との距離は25～30㌢といわれるが、これも明るさによる。夜、電灯の下で本を読むときは100～200ルクスを必要とする。100ワットの電球を笠なしでつけ、電球より1㍍離れた場所の明るさが100ルクス。電球に笠をつけると1・5倍から2・5倍明るくなる。夜の電車などは50ルクスぐらいだし、絶えずゆれるから、長く本など読むのは感心できない。

目を使いすぎ、充血した時はガーゼ、手ぬぐいなどを、ぬるま湯にひたして、しばらく目の上にのせておくとよい。

○…**こすって健康**　寒さに備えて乾布摩擦を励行しよう。こすれば皮フが厚くなるわけではない。ハダカになった時の刺激と摩擦の刺激で皮フの毛細管の運動性がよくなるからだ。血液循環をよくし、カゼの予防ばかりでなく内臓にも好影響がある。

（九、十月）

カアルトン ニュートーナメント は水鳥？

ナイロンを感じさせないナイロン。

新開発された、カアルトン〝ニュートーナメント〟シャトルは、ナイロンと云うよりも英国製高級水鳥シャトルに最も類似した性能を備えた、新しいシャトルです。



ニュートーナメントの特徴

●打球音が変った●ラケットから離れる感じが変った●ネットでのターンノーバ（回転）が変った●スピン●シャトルに対する視覚度（よく見える）がよくなった●飛翔のときの一貫した安定性が増加された。

メトロレジャー株式会社

東京都千代田区外神田5-6-4 TEL. 833-3661（代）

審 査 合 格 用 具

銘柄名	会社名
シャトルの部	
インターナショナルハタチハネエース（1打）¥2,400	羽立工業株式会社
ナイロンシャルルコック“メイビス”（1打）¥1,800	株式会社ヨネヤマラケット
ラケットの部	
No.B60 スワニー（SWANNY） ¥3,800	大阪合繊株式会社
No.B56 エクセレント（EXCELLENT） ¥3,500	〃
No.B50 ハイスピード（HY-SPEED） ¥3,500	〃
No.B45 ハイトーマス（HY-THOMAS） ¥3,000	〃
No.B40 フィアレス（FEARLESS） ¥2,500	〃
No.B35 プロフェショナル（PROFESSIONAL） ¥2,400	〃
No.B30 フェニックスインピリアリ（PHOENIX IMPERIAL） ¥1,700	〃
No.9000 ハイステンレス ¥3,800	株式会社ヨネヤマラケット
No.8000 アルミナハイパワー ¥4,000	〃
No.7000 アルミナエース ¥4,000	〃
No.6500 トップエース ¥3,500	〃
No.6000 ファイブエースデラックス ¥3,500	〃
No.5000 ファイブエース ¥3,200	〃
No.3000 カレッヂエイト ¥2,300	〃
No.2000 キングダイヤ ¥1,800	〃
No.1000 クインハート ¥1,500	〃
No.10 スリーエース ¥1,400	〃
No.8 スリーエイト ¥1,200	〃
No.7 ラッキーセブン ¥980	〃
カァルトンラケット 3.7X ¥6,300	メトロレジャー株式会社
カァルトンラケット 3.7 ¥6,300	〃
カァルトンラケット 3.9 ¥5,700	〃
キャリー 7S フレーム¥3,500	〃
キャリー 7G ¥2,500	〃
No.B−70 セブンティー ¥5,000	河崎ラケット工業株式会社
No.B−69 ブルーリース ¥3,500	〃
No.1200 スタミナデラックス ¥2,500	〃
No.1000 スタミナ ¥2,200	〃
No.204 ファインストローク（張り上げ） ¥1,400	〃
No.206 エバーウイン（張り上げ） ¥1,200	〃
No.210 ハードショット（張り上げ） ¥1,000	〃
No.201 ウイニングコース ¥1,500	〃
オールスチールハタチグラード ¥3,000・3,500 4,000 3種類	羽立工業株式会社
ハタチダイヤトーン ¥2,000	〃
No.8 ウインナー ¥1,100	株式会社トヨダスポーツ
No.1000 ニューミニ ¥1,500	〃
No.2000 ニューブラック ¥1,700	〃
No.7 シルバー ¥850	〃
ティピカル No.7 ¥950	株式会社諸江製作所
ダンデイ No.800 ¥1,150	〃
スナップ No.900 ¥1,350	〃
シルバーデラックス No.1000 ¥1,500	〃
キングクリッパー No.2000 ¥1,800	〃

銘柄名	会社名
キングアロー No.2500 ¥2,300	株式会社諸江製作所
ゴールドキング No.3000 ¥2,800	〃
キングメイト No.3500 ¥3,500	〃
ダンロップマックスプレイフォート ¥3,500	〃
ウェアーの部	
No.120 ショートパンツ ¥2,500	株式会社ヨネヤマラケット
No.121 ショートパンツ ¥1,600	〃
No.122 ショートパンツ ¥1,400	〃
No.142 シャツ（男子） ¥1,500	〃
No.141 シャツ（男子） ¥1,300	〃
No.140 クールネックシャツ ¥1,300	〃
No.241 シャツ（女子） ¥1,300	〃
No.242 シャツ（女子） ¥1,500	〃
No.243 ノースリーブシャツ（女子） ¥1,300	〃
No.200 巻きスカート ¥2,000	〃
No.201 フレアスカート ¥1,500	〃
No.203 プリーツスカート ¥1,300	〃
No.532 ショートパンツストレッチ（男子） ¥2,000	河崎ラケット工業株式会社
No.535 ショートパンツ（男子） ¥1,500	〃
No.500 半袖シャツ（女子） ¥1,400	〃
No.510 半袖シャツ（女子） ¥1,000	〃
No.505 ノースリーブシャツ（女子） ¥1,400	〃
No.517 長袖ハイネックシャツ（女子） ¥2,000	〃
No.590 スコート（フレアー） ¥1,700	〃
No.595 スコート（プリーツ） ¥1,300	〃
No.502 長袖シャツ（女子） ¥1,600	〃
No.594 （巻スカート） ¥2,000	〃
No.516 半袖ハイネック（女子） ¥1,800	〃
No.508 半袖ライン入りシャツ（女子） ¥1,600	〃
No.508 半袖ライン入りシャツ（男子） ¥1,600	〃
No.517 長袖ハイネックシャツ（男子） ¥2,000	〃
No.580 半袖シャツ（男子） ¥1,400	〃
No.510 半袖シャツ（男子） ¥1,000	〃
No.502 長袖シャツ（男子） ¥1,600	〃
No.516 半袖ハイネックシャツ ¥1,800	〃
No.422 ゴーセンハーモニウエアープリーツスカート ¥1,400	大阪合繊株式会社
No.425 ゴーセンハーモニウエアープリーツスカート ¥2,000	〃
No.426 ゴーセンハーモニウエアー巻スカート ¥2,000	〃
No.373 ゴーセンハーモニウエアー半袖シャツ ¥1,500	〃
No.370 男子半袖シャツ（無地） ¥1,000	〃
No.371 女子半袖シャツ（無地） ¥1,000	〃
No.400 男子半ズボン（白） ¥1,200	〃
No.427 巻スカート ¥1,600	〃
No.372 ゴーセンハーモニウエアー半袖シャツ ¥1,500	〃
No.405 ゴーセンハーモニウエアーショートパンツ ¥1,800 大1,900	〃
シューズの部	
バドミントンシューズ ¥1,600	株式会社ヨネヤマラケット 河崎ラケット工業株式会社
No.396 バドミントンシューズ	

大会運営規定100問集

〈第8回〉 日本教職員連盟編

（続・組合せおよびシード）

問73 ではシードのための資料にはどんなものがあるのですか。

答 まず前年度のその大会の成績に基づくランキングです。これは大体、一年前のものですが、やはり、これを尊重し、特に前回の優勝者は第1シードに置くべきでしょう。

次にその大会の参加資格を考え、同年度でもっと早い時期に行われた大会にも参加資格がある場合に、その大会のランキングを参照します。たとえば実業団大会の参加資格のあるプレーヤーは社会人大会にも参加する資格があるはずで、しかも社会人大会の方が先に行われるわけですから、そのランキングを参照して数ヵ月後の実業団大会のシードを行ないます。

また、その大会が都道府県などでの予選を経て参加するものであるならば、その予選会の成績を入手して参考にすることもよい方法です。

前回のランキング・プレーヤーが今回、参加しない場合は、順次、繰り上げてシードします。

第54条 シードされたプレーヤーまたは団体は、組合せ上、下記の個所（編集部注・左表参照）に組み入れる。

（シード組合せ）

①		③または4	
A	⑯、15、9、10、11、12、13または14	E	⑭、13、9、10、11、12、15または16
	⑨、10、11、12、13、14、15または16		⑪、12、9、10、13、14、15または16
B	⑧、7、5または6	F	⑥、5、7または8
	⑤、6、7または8		⑦、8、5または6
C	⑫、11、9、10、13、14、15または16	G	⑩、9、11、12、13、14、15または16
	⑬、14、9、10、11、12、13または16		⑮、16、9、10、11、12、13または14
D	④または3	H	②

問74 第54条の表を見ると、第1シード以外は「または」という字が入って、2種類から8種類までもシード順位の数字が入っていますが、これはどういう意味ですか。

答 それぞれ、一番最初の数字（注、このページの表では○印で囲んである）が本来その位置にシードされる順位をあらわしています。ところが運営規定の第57、58、59条によって動くことがあり得るのです。ただし無制限に動かすのではなく、そこに書かれている範囲内にとどめなければなりません。

また、シード順位の基準となるランキングが、1位から10位まで一連でなく、1、2、3、3とか5、5、5、9、9といった具合になっている場合もあります。

この場合には第57～59条に当たることがらが、むしろあった方が、組合わせの作成者にとっては気持ちが軽いわけです。該当事項がないときには、抽選ということになりましょう。

第57条 複試合におけるパートナーが同一大会の単試合にそれぞれ出場する場合は、単試合組合わせの相異なる½に組み入れなければならない

第58条 同一都道府県、団体よりの出場が複数の場合には、なし得る限り、下のごとく組入れねばならない。

2……相異なる½の山に
3、4……¼の山に
5～8……⅛の山に
9～16……1/16の山に
9～16……1/16の山に
以下、同じように

問75、76 では57、58条を説明して下さい。

答 57条はIBFの規定をそのまま取り入れたものです。ダブルスのパートナー同士がシングルスに出場する場合の措置でもしこの二人のシングルスのシード順位が2位、3位であった場合には、3位のプレーヤーを4位のプレーヤーと入れ替えてパートナーの反対の2分の1の山に置くのです。

また、個人戦でも団体戦でも同じ所属から複数の参加があった場合には、これをなるべく離して組合わせることになっています。つまり同じ県とか同じ学校のものは、同士打ちになることを避けたり、もし当たっても早い回戦でないようにしたいわけです。

第59条 前年度の大会で第1回戦に対戦したプレーヤーは、再び第1回戦で対戦することを、なし得る限り避けなければならない。

（この章、続く）

この大会運営規定100問集は一部百八十円、左記で取り扱っています。百万人のプレーヤー必携の書として一冊、お求め下さい（送料別）

◎東京都練馬区旭丘一の五一
日本教職員バドミントン連盟
前田耕作方

森本一雄氏　日本協会名誉会員、元日本協会理事。六月二十七日死去、62歳。富山師範出。富山県下で永年にわたり教職に奉じ、四十一年三月高岡市立伏木小学校長を最後に退職。二十六年四月～四十年三月まで富山県協会理事長として県下バドミントンの普及発展に尽力。その功により富山県体協、日本協会、富山新聞社等から表彰された。

"王国・富山"建設の父

日本協会名誉会員　森本一雄先生をしのぶ

富山県協会理事長
内多小五郎



在りし日の森本先生，第15回熊本国体で総合優勝，選手たちと（北日本新聞提供）

四月中旬、国鉄高岡駅前で、小走りでバスに乗る先生と言葉をかわしたのに、六月下旬にはその元気だった先生が、黄泉の地（よみのくに）に旅立たれてしまいました。

昭和二十六年四月、先生は富山県協会第二代理事長を受けられて以来、新興のこのバドミントン競技の普及に日夜をわかたぬ努力を傾けられました。まず学校体育からと、中学・高校のクラブ活動にバドミントンを採り入れるよう推進されました。

雌伏七年、その成果は、昭和三十三年の第十三回富山国体で高校女子の二位による、皇后杯二位となって現われました。ついで、昭和三十五年の第十五回熊本国体では、一般男・女と高校女子の活躍で、富山県初の国体総合優勝。第十七回の岡山国体でも二度目の総合優勝をかちとることができました。

この間に先生は、高岡女子高校のコーチとして、常に若い世代に夢を託されました。そして昭和三十七年の全国高校選手権では、同校の団体優勝という快挙が生まれました。

そのおかげで、富山県の高校バドミントンのレベルは急速に飛躍しました。高校男子でも富山商業、高岡商業勢による高校選手権や国体での優勝が続出してきましたし、さらには、全日本級の選手が、きびすを連らねて本県から出るようになりました。一方、先生は地元県市の体協役員としての活躍はもちろんのこと、特にごまかしとか、あいまいさを嫌われて、スポーツ全般の施策、運営に体を張られました。日本バドミントン協会の理事として、常に地方協会の立場を主張され、中央集権的運営になろうとする体制打破にがんばられました。

昭和四十年三月に、富山県協会の理事長を辞められましたが四十二年には日本協会から、日本バドミントン協会の名誉会員として、全国二人の中に推挙されました。

森本先生は外見、仕事のできる人にありがちなワンマン風の方で、お世辞にも静かな人ではありませんでしたが（家庭では庭木や盆栽いじりが大好きでした）実行力に富み、意志の強い人でした。その手腕によって、とかく閉ざされがちな北陸路の人々の内向性の気持が、どれほど改善されたか知れません。

先生はマージャンも好きでした。バドミントンの競技会とか役員会では一切やりませんでしたが（その点の区別ははっきりしていました）県体の終わったあと「ご苦労さん」ということで、先生の家庭に紹かれ、一卓を囲んだものです。負けず嫌いで、負けているときはなかなか帰してもらえませんでした。今となっては、なつかしい思い出のひとコマです。

本格的にやれば奥深い

一家そろっての楽しみにもよい



バドミントンの人気がようやく高まってきた。しかし、まだ〝要するに西洋羽根つき〟と思っている人も多いため、心あるマスコミが、一生懸命「バドミントンとは」を紹介している。以下は最近拾ったもの。果して正しく紹介されているかどうかあなたの〝常識〟で判断してほしい。

★バドミントン＝もとはインドの遊びである。駐印英国軍隊の将校が19世紀半ばボンベイ州プーナでこの遊びを覚え、プーナと名づけた。1873年、休暇で本国に帰った彼らがグロスター市バドミントンの、ある公爵邸でプーナを披露したことからこの名がつけられた（少年マガジン「ちっちゃなナウ常識」）

★バドミントン　インド・ボンベイ州プーナに起こり、初めプーナといわれていたが、十九世紀中期、イギリスの軍人が本国に接ち帰り、のちグロスターシャーのバドミントンの人々に愛好されて、今日のような近代スポーツに発展した。

本格的にやれば、運動量も大きく、奥深いスポーツだが、打ち合うだけでも十分楽しめ、どこででも、だれとでもできる、そういった意味ではもっとも大衆的なスポーツといえる。

ゲームは、高さ1・5㍍のネットを境にして、一人あるいは二人づつが相対し、ネット上部からシャトルコック（羽根つき球）を打ち合うもの。ダブルスで試合を行なう場合は、男女のペア、子供とおとなのペアなど組むのもおもしろいだろう。（新潟日報夕刊「ヤングコーナー」）

★バドミントンは動きの激しいスポーツですから、一家そろってプレーを楽しみながら体力づくりにも役立ちます。

マスコミが紹介しているバドミントン

バドミントンはインドで行なわれていた「プーナ」という競技からはじまったといわれます。この「プーナ」をイギリスの軍人が本国に持ち帰り、バドミントン村に住むビーフード卿がこれをスポーツ化し、村の名にちなんでバドミントンと呼ぶようになったといわれます。（サンケイ新聞テレショップ・スポーツ用具販売ガイドから）

反射神経と持久力を

養うのに最適の競技

★日本古来の羽根つきとテニスを一緒にしたような〝バドミントン〟は、場所もとらず、手軽にやれるスポーツとして、かなり普及しているが、基本的なことを知らないでやっている人が案外、多いのではないだろうか。日本バドミントン協会・事務局長の村山幸雄さんに〝バドミントンの妙味〟を聞いてみた。

バドミントンは一見テニスと同じように考えられるが、バドミントンはボールの代わりにシャトルコック（羽根）を使う。ラケットもテニス用よりいくぶん軽くなっている。さらにフォームやプレーの方法も違う。

バドミントンのプレーはネットに少しでも近く、少しでも高いところで打つのがポイント。ラケットは下に垂らさないで、絶えず高く掲げておくこと。足の位置は、カカトをあげてヒザを曲げ、親指の部分に重心をかけて、いつでもすぐスタートできる準備をしておく。逆八の字はまずく、どちらかというと内股の姿勢がよい。

打つポイントは「スナップをきかす」ことで、腕の力だけで打つとコートをオーバーしやすい。シャトルコックは統一されているが、ラケットは自由に選ぶことができるので、腕に力のない人が軽いのを選ぶのはふつうだ。

ところで、バドミントンでは「反射神経」と「持久力」が養える。

自分のプレーする空間は、タテ5・1㍍、ヨコ5・94㍍しかなく、ネットの高さも1・52㍍と高くないので、シャトルコックの打ち返りが早い。そのうえ速いときはドライバーでゴルフボールを思い切って打ったときのボール（時速280㌔）に近く、遅いときはピンポン玉を投げるよりも遅い。このスピードの格差が反射神経を育てるのに大いに役立つ。

バレーボールと同じようにバドミントンでは、サーブ権がなければ得点にならないので、勝負に時間がかかる。そのうえコートが小さいので〝絶えずとる〟という持久力と忍耐力が要求される。（滋賀日日新聞）

患者の社会復帰に一役

…苫小牧・道央佐藤病院…

白い羽根が築く明るいあした

患者の社会復帰を――というリハビリテーションの一環として、苫小牧市樽前にある道中央佐藤病院では、週二回バドミントン競技を実施しているが、徐々ながら成果をあげており、指導者らを喜ばせている。

――（苫小牧民報）

同病院では、これまでもリハビリテーションとして、陶芸作りや養鶏、運動会などを実施させているが、三年前から患者にもスポーツ活動を、といったねらいから体育館を建設。たまたま、同館の落成式に招待された苫小牧中央高校バドミントン部顧問・十川千春先生が、佐藤玄一院長からの依頼で、バドミントン指導に乗り出したのがキッカケ。十川先生は苫小牧バドミントン協会役員をつとめておりこれまで全日本教職員バドミントン大会にも本道代表として出場したキャリアを持つ。

ところが、いざ患者を相手にバドミントン指導を始めると、いろいろな難問が出てきた。まず、患者には言葉使いに気をくばり、ルールを理解させるだけで六ヵ月の期間がかかった。はじめはバドミントンの球にラケットが当らず、から振りばかりの毎日だったが、いまでは高校バドミントン部の部員たちと立派に試合ができるまでになり、病院側でも「バドミントンを始めてから、患者の表情も一段と明るくなった」と、この成果に大喜び。

現在は、毎週月、水曜日の二回、午後六時からバドミントン指導を行っているが、十川先生が到着するころには、ラケットを手にした患者さんが、体育館で待ち受けるなど、たいした意気込みを見せており、病院側や十川先生は「対戦相手を探すのに苦労しそうです」



“女王”中山夫人にプリンセスが誕生

名づけて朋子ちゃん 2代目？それは本人しだいよ

ミセスの身で昨年のユーバー杯に主将として出場、日本三連勝の中心となった中山紀子さんが七月十三日、初めての二世（長女）を出産した。中山さんは旧姓高木、一昨年十月、中山広明氏（現日本協会理事）と結婚。名前は朋子（ともこ）仲良くできるような円満な性格の持ち主になってもらおう、との親心からで「将来バドミントンをやるかどうか」は子供の意志に任せるとのこと。生れた時は2600㌘ながらいたって健康。

バドミントンは奈良女子大など4カ所

国立20大学が盛大にスポーツ教室を開く

文部省が計画していた「国立学校スポーツ教室」が、今夏からようやくスタートした。この教室は全国の国立大学で、その施設と関係教員を動員して、一般市民にスポーツ指導を行なうもの。各地の教育委員会との共同主催。

今回〝開放〟に応じたのは全国七十六校のうち二十校。このうちバドミントンのコースを設けたのは①北海道教育大②奈良女子大（婦人が対象）③宮崎大学（老壮年）④琉球大学（婦人）の四校。

このコースは定員約三十人、20時間を原則とし、参加者の費用は一人八百円。時節がら全体ではバレー、水泳、テニスや体力づくりのコースが目立つ。

予算は文部省の支出だが、地方自治体で開く教室などよりも少く「みみっちすぎる」との声もあがっている。しかし、文部省は来年度からさらに開放学校数をふやしていく方針であり、全国の小、中学校の校庭開放にどんな刺激を与えるか、注目されている。

募集と同時に、どこでも定員オーバーの盛況だったといわれるが、バドミントン関係のコースの成果については、追って本誌上でも報告しよう。

ポスターありました

読者の五十嵐さんから早速、便り

本誌44号で「全国安全週間」のポスター、現物があれば、との呼びかけに応じ、さっそく東京都相模原市下九沢118日本ビクター寮内・五十嵐儀策さんがポスターを送って下さいました。

以下、五十嵐さんからのお便りの要旨。

バド界NO44で、「全国安全週間」のポスターの件が出ておりました。私も会社の休憩所に張ってあったのを思い出し、さっそく持ってきました。このポスターを見たとき、なんとなくほんわかとしたものが感じられうれしかったです。

また、だいぶ古くなってしまいましたが47年1月25日付け中日新聞夕刊に（下段の写真）がのっていました。もっと早く送るべきでしたが、何かの役に立ってもらえれば幸いです。

いろいろな方面においてバドミントンの役割りが出て、これがPRにつながるものと思いますが、ただ、あと一歩、遊びのバドから本当？のバドへのPR等が必要なのではないでしょうか…。

★お説の通りだと思います。大変ありがとうございました。







モデルは日体大女子

英文雑誌に紹介されたバドミントン

日本のバドミントンが海外に紹介されている。紹介したのは「パシフィック・フレンド」誌といい、東南アジア、豪州方面へ、主として写真で日本をPRする月刊雑誌。時事画報社の出版で、ごらんのようにオール英文で構成されている。

掲載された号は73年9月号。モデルとなったのは、学生ナンバーワンの日体大女子バドミントン部。カラー写真3ページを含む全4ページにわたって、バドミントン、日本の現状、そして彼女らの練習風景を述べている。

記事を要約、説明すると——

★バドミントンは、日本人にとって、ある意味で、顔なじみの遊びである。日本には古来、羽子板で羽根をつく遊びがありバドミントンは、いわば〝西洋羽根つき〟みたいなものだからである。

しかし、大戦後、この羽子板遊びは年々すたれ、代わってバドミントンがヤングの人気者となってきた。とくに一九六六年のユ杯女子世界選手権大会で日本が初優勝して以来、人々の間の関心が急速に高まった。

日本バドミントン協会によれば、いわゆるプレーヤーは登録競技者を含め約六十万といわれママさんや子供の、町の片隅の〝羽子つき族〟を入れれば、その数は推定三百万人に上る。

日体大女子バドミントン部は学生界の雄であり、中心選手四人のうち三人までは〝全日本〟に起用されているほどだ。この中心選手は西尾、秋本、佐伯、谷ですべて二年生。西尾は昨年の全日本総合で二位、インカレで秋本をくだして優勝した。

ユ杯の3連勝を飾った日本のスターは中山、湯木、相沢、竹中だが、日体大の関根コーチは「近い将来、西尾たちは、このスターの座にとって代わる」と確信している。

部員は約30人。一、二年生は寮に寄宿しており、練習は一日三、四時間。休日には五、六時間に及ぶ。春、夏の休みには合宿がある。週に二、三回は8キロも走り、脚力とスタミナを養う。選手の多くは卒業後、体育教師となり、バドミントンの普及発展に貢献する。

堂谷内、池田が栄冠を獲得

═中部日本選手権═

長野県

◆第25回中部日本選手権大会（3月17～18日＝松本市）

◇少年シングルス ▽準決勝

西村 2（15－1 15－4）0 長谷川（富山）
梶川 2（15－1 15－6）0 小中（富山）

▽三位決定戦

大窪 2（15－3 15－11）1 寺田（石川）
柳本 2（15－10 10－15 15－11）1 宮崎（石川）

▽決勝

西村 2（15－6 15－11）0 梶川

◇少年ダブルス ▽準決勝

西村・木下 2（17－14 5－15 18－17）1 梶川・小中（富山）
大窪・寺田 2（15－3 10－15 15－11）1 柳本・宮崎（石川）

▽決勝

西村・木下 2（18－17 15－10）0 大窪・柳本

◇青年男子シングルス▽準決勝

寺田 2（キケン）0 木下
宮崎 2（キケン）0 小中

▽決勝

鈴木 2（8－15 18－16 15－9）1 東（石川）
（新潟）

◇青年男子ダブルス ▽準決勝

長谷川・原 2（15－2 15－8）0 松島・松井（愛知）
松下・東 2（17－14 15－9）0 鈴木・榛（新潟）

▽決勝

堂谷内 2（4－15 15－13 15－8）1 松下（石川）
（石川）

▽三位決定戦

松下 2（キケン）0 東

▽決勝

堂谷内 2（15－11 15－5）0 鈴木

◇青年男子ダブルス ▽準決勝

長谷川・原 2（15－2 15－8）0 松島・松井（愛知）
松下・東 2（17－14 15－9）0 鈴木・榛（新潟）

▽三位決定戦

鈴木・榛 2（15－7 15－7）0 松島・松井

▽決勝

松下・東 2（15－2 15－6）0 長谷川・原

◇成年男子シングルス

▽三位決定戦

畑 2（15－10 15－5）0 七沢（静岡）
（福井）

▽決勝

中田 2（17－15 15－10）0 奥村（静岡）

◇成年男子シングルス

▽三位決定戦

北方・奥村 2（15－10 15－1）0 里見・林（長野）
（石川）

▽決勝

南大世古 2（15－7）0 大沢宮坂（三重）
（三重）

◇少女シングルス ▽準決勝

野崎 2（11－6 11－6 11－5）1 山本（富山）
（三重）
山崎 2（12－10 11－2）0 島田（三重）
（石川）

▽三位決定戦

山本 2（11－3 11－2）0 島田

▽決勝

山崎 2（11－12 11－7 11－1）1 野崎

◇少女ダブルス準決勝

京田・山口 2（15－8 15－17 15－0）1 島田・大西（三重）
（富山）
野崎・山川 2（15－6 15－5）0 木村・秋元（富山）
（三重）

▽三位決定戦

島田・大西 2（15－3 9－15 15－4）1 木村・秋元

▽決勝

野崎・山川 2（15－12 15－8）0 京田・市山
（愛知）

◇青年女子シングルス▽準決勝

紺野 2（12－10 11－4）0 田中（石川）
（愛知）
池田 2（12－10 11－5）0 工藤（愛知）
（愛知）

▽三位決定戦

工藤 2（11－0 11－1）0 田中
（愛知）

▽決勝

池田 2（11－2 7－11 11－1）1 紺野

◇青年女子ダブルス ▽準決勝

工藤・紺野 2（15－9 15－5）0 日比野・紅谷（岐阜）
（愛知）
池田・村田 2（15－7 8－15 15－8）1 西山・林（愛知）

▽三位決定戦

日比野・紅谷 2（14－17 15－3 15－12）1 西山・林

▽決勝

工藤・紺野 2（15－8 17－18 15－8）1 池田・村田
（愛知）

◇混合ダブルス ▽準決勝

岡崎・福井 2（15－4 15－6）0 工藤・正岡（愛知）
紺野・武田 2（15－7 15－3）0 角谷・笠川（福井）
（愛知）

▽三位決定戦

角谷・笠川 2（3－15 15－11 18－15）1 工藤・正岡

▽決勝

岡崎・寺崎 2（15－12 18－16）0 紺野・武田

工藤健在、堀川も見事優勝

═全日本教職員選手権═

滋賀県

◆第12回全日本教職員選手権大会（8月7日～11日＝大津市県立体育館）

◇一般男子ダブルス ▽決勝

藤原・藤上 2－0 原・長谷川（滋賀）（石川）

◇一般男子シングルス▽決勝

工藤 2－0 関（熊本）（東京）

◇一般女子ダブルス ▽決勝

天野・広沢 2－0 柿崎・時田（岐阜）（千葉）

◇一般女子シングルス ▽決勝

堀川 2－0 栗原（新潟）

◇三十歳男子シングルス▽決勝

鈴木 2－1 西田（秋田）（熊本）

◇四十歳男子シングルス▽決勝

畑 2－1 毛利（福井）（岡山）

◇五十歳男子ダブルス▽決勝

榎本・田中 2－0 白杵・本間（滋賀）（新潟）

◇混合ダブルス ▽決勝

上原・天野 2－0 関・功刀（岐阜）（東京）

横浜、男女制覇はならず

女子は秋本が頑張り、大阪優勝

＝五大都市大会＝

京都府

◆第24回五大都市体育大会バドミントン競技会（7月20日～22日＝京都市）

◇男子の部

大阪 4－1 京都

水川九洋 2 15－15 15－3 0 掛水一男
浅見初男 1 15－8 11－15 15－5 2 永井 博
岩田 勇 2 15－13 15－5 0 福井達男
鷲尾正一 2 13－15 15－13 0 掛水一男
中田 守 2 15－15 15－11 0 飴田純一
竹原 茂 2 15－15 15－4 0 前田憲宏

横浜 5－0 名古屋

京屋孝治 2 15－15 15－9 0 加藤保利
鈴木勝之 2 15－2 15－9 0 菱田修光
小島一平 2 15－12 18－13 0 村上敏行
宮川秀樹 2 15－12 18－13 0 伊村 隆
杉田 博 2 15－10 15－4 15－11 1 平松孝孔
鈴木勝之 2 15－6 15－1 0 菱田修光
古谷陽一 2 15－8 15－2 0 八神由一

大阪 5－0 神戸

岩田 勇 2 15－6 15－8 0 友金利一
鷲尾正一 2 15－6 15－8 0 土井弥一
中田 守 2 15－5 15－8 0 児島 晋
竹原 茂 2 15－0 15－4 0 大竹節夫
鷲尾正一 2 15－4 15－0 0 久下博史

横浜 5－0 京都

小島一平 2 15－9 15－7 0 掛水一男
宮川秀樹 2 15－9 15－7 0 福井達男
京屋孝治 2 15－11 15－8 0 吉井光二
鈴木勝之 2 15－11 15－8 0 永井 博
杉田 博 2 15－3 15－2 0 飴田純一
宮川秀樹 2 15－11 15－4 5－15 1 福井達男
古谷陽一 2 15－3 15－11 0 吉井光二

名古屋 4－1 神戸

加藤保利 2 15－12 15－10 0 友金利一
菱田修光 2 15－12 15－10 0 土井弥一
村上敏行 2 15－11 15－9 0 大竹節夫
伊村 隆 2 15－11 15－9 0 大竹節夫
平村孝孔 2 15－6 15－5 0 児島 晋
八神由一 1 8－15 15－10 9－15 2 豚座一利
村上敏之 2 15－2 15－12 0 久下博史

横浜 4－1 大阪

小島一平 2 15－6 15－11 0 岩田 勇
宮川秀樹 2 15－6 15－11 0 鷲尾正一

京屋孝治 2 15－11 15－2 7－15 1 浅見初男
鈴木勝之 2 15－11 15－2 7－15 1 浅見初男
杉田 博 2 15－5 15－1 0 中田 守
小島一平 2 15－5 15－12 0 浅見初男
古谷陽一 0 7－15 9－15 0 水川九洋

横浜 5－0 神戸

小島一平 2 15－8 15－8 0 友金利一
宮川秀樹 2 15－8 15－8 0 土井弥一
京屋孝治 2 17－14 15－7 0 豚座一利
鈴木勝之 2 17－14 15－7 0 大竹節夫
杉田 博 2 15－1 15－1 0 児島 晋
古谷陽一 2 15－6 15－3 0 大竹節夫

名古屋 3－1 京都

小島一平 2 15－5 15－3 0 友金利一
加藤保利 2 15－8 15－7 0 永井 博
菱田修光 2 15－8 15－7 0 吉井光二
村上敏行 2 15－7 15－5 15－17 1 福井達男
伊村 隆 2 15－7 15－5 15－17 1 掛水一男
平村孝孔 2 15－4 15－8 0 飴田純一
加藤保利 0 8－15 7－15 2 永井 博
八神由一 1 打切り 11－15 15－10 1 福井達男

（順位） 1位＝横浜、2位＝大阪、3位＝名古屋、4位＝神戸、5位＝京都

◇女子の部

大阪 4－1 京都

福永久式子 2 15－2 15－7 8－15 1 田村春美
尼崎初子 2 15－2 15－7 8－15 1 松本直美
秋本幸子 2 15－3 12－15 15－7 1 椹本祥美
仲西喜代子 2 15－3 15－7 1 飯田栄子
泊カスミ 0 3－11 2－11 0 加藤喜美子
秋本幸子 2 11－3 11－1 0 辻井美知子

横浜 3－2 名古屋

餌取貴代美 2 11－1 11－1 3－11 1 飯田栄子
杉田良子 2 11－2 11－9 0 紺野幾子
金子澄子 2 15－10 15－3 0 山本弘子
中塚 操 2 15－11 15－4 0 林 澄子
藤原貴美子 2 15－11 15－4 0 高村恵子
俵口和美 0 6－11 1－11 2 鈴木洋子

西 恵子 0 1－11 2－11 2 山本弘子

大阪 3－2 名古屋

福永久式子 2 11－1 11－3 0 紺野幾子
尼崎初子 2 15－10 15－5 0 山本弘子
秋本幸子 2 15－1 15－3 0 林 澄子
仲西喜代子 2 15－1 15－3 0 内田みつ子
泊カスミ 0 6－11 8－11 2 鈴木洋子
尼崎初子 2 11－1 11－3 0 紺野幾子

餌取貴代美 0 (3−11) 2 山本弘子
京　都　5−0　神　戸
松本直美 2 (15−9) 0 浅野直子
辻井美知子 2 (11−1) 0 飯田るみ子
櫛木祥美 2 (15−1) 0 村田悦子
田村春美 2 (15−4) 0 山田純子

加藤喜美子 2 (11−1) 0 キケン 0
辻井美知子 2 (11−1) 0 原美由起
欄木祥美子 2 (11−1) 0 浅野直子
横　浜　4−1　神　戸
杉田良子 2 (15−0) 0 原美由起
金子澄子 2 (15−0) 0 村田悦子
中塚　操 0 (9−15) 2 浅野直子
藤原貴美子 0 (5−15) 2 飯田るみ子

俵口和美 2 (11−7) 0 飯田るみ子
金子澄子 2 (11−5) 0 山田純子
藤原貴美子 2 (12−11) 0 山田純子
名古屋　3−2　京　都
林　澄子 0 (4−15) 2 松本直美
内田みつ子 0 (0−15) 2 田村春美
紺野幾子 2 (11−8) 0 松本直美
山本弘子 2 (15−5) 0 飯田栄子

鈴木洋子 2 (11−0) 1 加藤喜美子
紺野幾子 2 (11−5) 1 加藤喜美子
山本弘子 2 (15−7) 0 櫛木祥美
俵口和美 2 (10−12) 1 加藤喜美子
高村恵子 0 (3−11) 2 田村春美

名古屋　3−2　神　戸
林　澄子 2 (15−7) 0 村田悦子
内田みつ子 2 (15−3) 0 山田純子
紺野幾子 1 (8−15 15−1 12−15) 2 浅野直子 飯田るみ子
鈴木洋子 2 (キケン) 0

紺野幾子 2 (11−2) 0 原美由起
高村恵子 0 (0−11) 2 飯田るみ子
横　浜　2−3　大　阪
杉田良子 2 (15−8 15−15 13−15) 1 福永久式子
金子澄子 2 (15−3 8−15 15−13) 1 尼崎初子
中塚　操 0 (3−15) 2 秋本幸子
藤原貴美子 0 (1−15) 2 仲西喜代子

俵口和美 1 (9−12 12−11 2−11) 2 泊カスミ
杉田良子 0 (1−11 5−11) 2 秋本幸子
金子澄子 2 (11−7 11−7) 1 尼崎初子
横　浜　3−2　京　都
中塚　操 0 (3−15) 2 松本直美
藤原貴美子 0 (3−15) 2 田村春美
杉田良子 0 (1−11) 2 櫛木祥美
金子澄子 2 (15−3) 0 飯田栄子

俵口和美 2 (11−2) 0 加藤喜美子
金子澄子 2 (11−7 11−2 4−11) 1 松本直美
西　恵子 0 (0−11 0−11) 2 田村春美

大　阪　5−0　神　戸
福永久式子 2 (15−0) 0 山田純子
尼崎初子 2 (15−0) 0 村田悦子
秋本幸子 2 (15−3) 0 浅野直子
仲西喜代子 2 (15−1) 0 飯田るみ子
泊カスミ 2 (キケン) 0

餌取貴代美 2 (11−0) 0 原美由起
仲西喜代子 2 (11−0 11−2) 0 村田悦子

(順位) 1位＝大阪、2位＝横浜、3位＝名古屋、4位＝京都、5位＝神戸

大阪府

◆昭和47年度近畿総合選手権大会（3月25日＝大阪市中央体育館）

▽一般男子シングル

▽準々決勝

岩田（電々近畿）2−0藤上（滋賀珀王小教員）、佐藤（新宮高教員）2−1滝野（電々近畿）、森（新宮高教員）2−0竹原（電々近畿）、植田（奈良植田商店）2−0鷲尾（スワロー化研）

▽準決勝

佐　藤 2 (15−5 15−7) 0 岩　田
植　田 2 (15−0 15−2) 0 森

▽三位決定戦

森　2（キケン）0 岩　田

▽決　勝

植　田 2 (15−11 15−7) 0 佐　藤

◇一般男子ダブルス

▽準々決勝

久保田・藤上（英）（滋賀教員）2−1穂谷・楠戸（丸善石油）、岩田・滝野（電々近畿）2−0杉田・中田（大阪教員）、竹原小野（電々近畿）2−0森・佐藤（和歌山教員）、遠藤・鷲尾（スワロー化研）2−0藤上（信）・藤原（滋賀教員）

▽準決勝

岩　田 2 (15−7 15−9) 0 久保田
滝　野 2 (15−7 15−7) 0 藤上（英）
遠　藤 2 (15−10 15−5) 0 竹　原
鷲　尾 2 (15−12 15−7) 0 小　野

▽三位決定戦

久保田 2 (15−12 15−7) 0 竹　原
藤　上 2 (15−11 15−8) 0 遠　藤
滝　野 2 (15−11 15−8) 0 鷲　尾

▽決　勝

岩　田 2 (15−11 15−1) 0 佐　藤

◇一般女子シングルス

▽準々決勝

餌取（電々近畿）2−1村崎（樟蔭女子大）、徳田（四条畷学園高校）2−0福永（三菱電機）、尼崎（三菱電機）2−0秋本（四条畷学園高校）、高田（四条畷学園高校）2−0久保田（電々近畿）

▽準決勝

徳　田 2 (11−1 11−1) 0 餌　取

▽三位決定戦

高　田 2 (11−9 8−11 11−9) 1 尼　崎

▽三位決定戦

尼　崎 2 (11−3 11−4) 0 餌　取

▽決　勝

徳　田 2 (11−2 11−2) 0 高　田

◇一般女子ダブルス

▽準々決勝

徳田・高田（四条畷学園高校）2−0原田・禿（滋賀教員）、村上・朝日（成安女子高校）2−0餌取・久保田（電々近畿）、村崎・水島（樟蔭女子大）2−1駒村・富田（大津高校）、柿本・佐古（電々近畿）2−0尼崎・牧野（三菱電機）

▽準決勝

徳　田 2 (18−13 15−6) 0 井　上
高　田 2 (15−4 15−4) 0 村　崎
柿　本 2 (15−7 15−3 11−15) 1 佐　古
佐　古

▽三位決定戦

井　上 2 (15−1 15−2) 0 村　上
朝　日

▽決　勝

徳　田 2 (15−7 15−3 11−15) 1 柿　本
高　田

◇成年男子ダブルス

▽決　勝

土　井 2 (15−3 15−8) 0 戸　沢
広　瀬（YMCA）（京都）

◇成年男子シングル

▽決　勝

土　井 2 (15−3 18−13) 0 北　野
（YMCA）（向丘小教員）

◇壮年男子シングルス　▽決勝
小林（三菱電機）2（15－4、15－2）0尼崎（三菱電機）
◇壮年男子ダブルス　▽決勝
吉田、小林2（7－15、15－2、15－10）1大平、尾崎（兵庫）
◇混合ダブルス　▽決勝
水川、秋本2（15－10、15－1）0植田、焼田（大阪）（奈良）

石川県

◆石川県社会人選手権大会（4月22日＝寺井町体育館）
◇男子青年シングルス▽準決勝
堂垣内（津田駒）2－1東（倉庫精練）
長谷川（藤花高教）2－1松下（電々公社）
▽決勝
長谷川2（15－10、15－5）0堂谷内
◇男子成年シングルス　▽決勝
中田（倉庫精練）2（15－6、18－13）0岡崎（土屋協会）
◇男子壮年シングルス　▽決勝
亀山（金大ガン研）2（15－4、15－1）0大西（河北ク）
◇男子青年ダブルス　▽準決勝
北方・長谷川（藤花高教）2－0安江・堂谷内（津田駒）
松下・相川（電電、栄建設）2－0中田・東（倉庫精練）
▽決勝
北方、長谷川2（15－11、9－15、15－12）1松下、相川
◇男子成年ダブルス　▽決勝
中田、岡崎2（15－3、11－15、15－4）1原、杉本
◇男子壮年ダブルス
大西、西村2（13－15、15－4、15－9）1亀山、石田
◇女子シングルス　▽準決勝
松田（辰巳ク）2－0庭田（辰巳ク）
沢野（こばと保育園）2－0田中（辰巳ク）
▽決勝
沢野2（11－1、7－11、11－5）1松田

茨城県

◆第23回全日本実業団選手権大会（7月8日～13日＝石岡市）
◇男子団体　▽四回戦
高岡市役所（富）3－0三菱製紙八戸（青）、スワロー化研（大）3－2電々北海道（北）、ヨネヤマラケット（東）3－0三菱横浜（神）、北辰電気（東）3－2トヨタ自工（愛）、電々東京（東）3－0横浜市役所（神）、関東自工（神）3－0富士市役所（静）、電々近畿（大）3－0国鉄北海道総局（北）、河崎ラケット（東）3－1不二越（富）
▽準決勝
高岡市役所3－1スワロー化研、ヨネヤマラケット3－0北辰電機、電々東京3－0関東自工、河崎ラケット3－1電々近畿
▽準決勝
ヨネヤマラケット3－1高岡市役所、電々東京3－0河崎ラケット
▽決勝
電々東京3－1ヨネヤマラケット
◇女子団体　▽一回戦
神奈川県庁（神）3－1名古屋鉄道（愛）
▽二回戦
三菱電機伊丹（兵）3－0神奈川県庁、北辰電機（東）3－0不二越（富）、琴平電鉄（香）3－0住友金属和歌山（和）、地崎工業（北）3－0三菱自工京都（京）、トヨタ自工（愛）3－0東京トヨペット（東）、本州製紙富士（静）3－2日立製作所戸塚（神）、電々近畿（大）3－0丸善石油千葉（千）、ヨネヤマラケット（東）3－0松下電工彦根（滋）、百十四銀行（香）3－0大日本電線（兵）、日産車体（神）3－0秋田羽後銀行（秋）、三菱電機長崎（長）3－2河崎ラケット（東）、豊田自動織機（愛）3－0諏訪精工舎（長野）、旭光学益子（栃）3－2日本電装（愛）、スワロー化研（大）3－0明治生命（東）、鹿児島県庁（鹿）3－1関東自工（神）、電々東京（東）3－0新日鉄名古屋（愛）
▽三回戦
北辰電機3－2三菱電機伊丹、琴平電鉄3－2地崎工業、トヨタ自工3－1本州製紙富士、ヨネヤマラケット3－0電々近畿
百十四銀行3－0日産車体、三菱電機長崎3－2豊田自動織機、旭光学益子3－2スワロー化研、電々東京3－1鹿児島県庁
▽準々決勝
琴平電鉄3－1北辰電機、ヨネヤマラケット3－1トヨタ自工、百十四銀行3－1三菱電機長崎、電々東京3－1旭光学益子
▽準決勝
ヨネヤマラケット3－0琴平電鉄、百十四銀行3－2電々東京
▽決勝
ヨネヤマラケット3－1百十四銀行（本大会の詳報は前号をごらん下さい）





今月のことば

この世の中、過去だけ追っていたら、精神的に死んでしまう——ロッテで投手として再出発した、巨人の元エース城之内選手

人にとって、過去は、たいてい美しい。昔のにがい経験を忘れずに、それを新しい人生のエネルギーとする人、逆に怨念として抱き続け、一生、復しゅう心に燃えて終わる人、なども世の中にはいる。

しかし、我々、凡人はまず、過去を美化し、そのイメージの世界に逃避したがるものだ。もちろん、過去は今日と切り離して考えるわけにはいかない。歴史はその意味で大切にしなければならないものだが、問題は、その過去から何を得て、明日の材料にするか、であろう。

前向きに捕えない限り、過去は、ただの〝亡霊〟にすぎないのだ。年をとると、いや、若者でさえも、二言目には「昔は」といいたがり「おれたちの若い頃は」を持ち出す。と、こんなことを書きながら、筆者自身がその同類であることを反省させられている。

〝過去〟は単なる亡霊

明日へのエネルギーでなければ

我々にとって重要なのは、過去、自分がどれだけすぐれた人間であったか、ではない。いまどうなのか、である。幼長序あり、先輩は尊敬し、実践に敬意を払うのは当然だが、キリンも老ゆれば駄馬に等しい。

世の中を、すべて現在の実力だけがモノをいう、と割り切ってしまっては、あまりにも味気ない。けれども、いま一つも勝てない人が、いくら「昔はこんなに強かった」といっても、ただそれだけ。プロ選手なら一銭もかせげない。

西ドイツ・サッカー界の名コーチ、デットマール・クラマーさんは、先年、サッカー・コーチ学校で指導したとき「ハラの突き出た人は、グラウンドを去れ。プレーヤーに模範を示すことのできる人だけが、コーチの資格がある」といった。

そういわれても、人には年をとったら、できなくなることもある。理屈通りにはいかないがクラマー発言、すべての人がキモに銘じなければいけないことだろう。

芸能界の名声は〝虚名〟であることが多いが、スポーツ界の名声は、イコール実力でなければならない。教わる方は、教える人の力量だけを尊敬するのであって、有名、無名は関係ない。

また逆に、いくらいいことを教えようと思っても、相手が受け入れなければ、その価値はゼロにひとしい。相手が間違っている場合もあるだろうが、教えようとする方にも、当然、反省がなければならない。

経験は貴重なものである。だが、経験はたいてい、個性的、個人的なものであって、万人に応用がきくかどうかは、また別である。お酒の中でウイスキーが一番うまい、といって、無理やり他人にもすすめてはいけない。ブランデーを欲せばブランデーを与えよ、だ。どっちにしてもアルコール、酔うことには変わりがない。

編集室から

○…暑い暑いといっているうちに、東北では冠雪などというニュースがとびこむ。あわてて冬物を引っ張りだしたり、ストーブを押入れから出している人も多いことだろう。

今月号は、インターハイと沖縄特別国体を中心に編集したが、相変わらずの月遅れニュースのそしりは免れない。暮れまでには完全に正常なペースに追いつくはずだったが、この分ではどうやら見通しは暗い。何といっても依頼原稿の脱稿が遅れていることが主因であるため、今後は書き原稿をふやさねばなるまい。

○…ところで、中国の驚くべき底力に目を見張った方も読者の中に多勢いるのでは……。予想していたとはいうものの、あれほどに強いとは……。

次号では、その日中戦の模様をたっぷりと写真を使い、マスコミには載らなかったウラ話も紹介しますので、どうぞご期待下さい。

○…今月号では、石川県の方方の投稿を掲載したが、各都道府県の代表者の方、会員の皆様に積極的に働きかけて、フレッシュなナマの声を編集部あてお送りいただきたい。

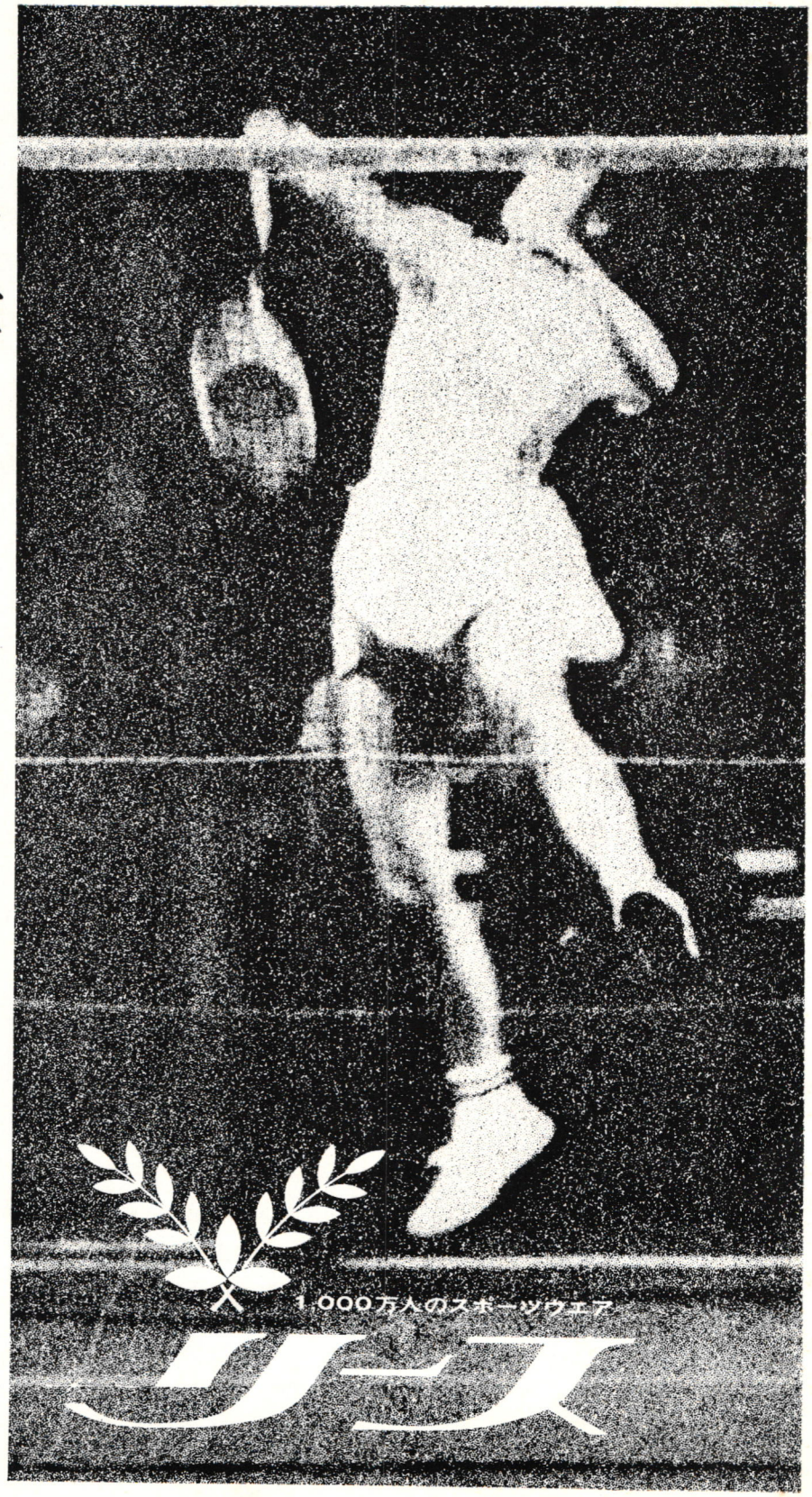
どうしても、筆者が固定してしまうと、内容もマンネリとなるのは避けられない。マンネリ化した雑誌ほどつまらないものはないので、編集部もアタマをひねっていますから、読者の方方もご協力のほどを。

○…すでに新聞報道でご存知の方も多いと思うが、最近の資材の値上りは異常で、とくに紙の不足にともなう値上りは、半年で一〇〇パーセントに近い。本誌の用紙も手当が困難な状態になっており、これまた見通しは必ずしも明るくない。これを乗り切るには、増部数によるコストの低減。やはり内容のよい編集をすることに帰結するわけ。次号をご期待下さい。

【バドミントン界】第47号
昭和47年8月25日　印刷
昭和48年9月1日　発行
編集兼発行人　川端昇市
発行所　東京都渋谷区神南一の一の一
岸記念体育館内
日本バドミントン協会
電話　四六七・三二一一（内線）二五一
（四六七・七〇九五直通）
郵便番号・一五〇
振替口座・東京三二一九三
印刷所　東京都豊島区南大塚二一二九
明宏印刷株式会社
定価　一部　百三十円

©無断転載を禁ず

この一瞬!!



あなたはひかる――はげしい動き、ふき出す汗、すべての条件をプレイヤー本位に満たすカワサキの〝リース〟はあなたのウエアです。

K TOKYO

河崎ラケット工業株式会社
東京都台東区台東2-28-5 電話(831)-1884・0453

月刊「バドミントン界」第47号
昭和四十八年九月一日発行（毎月一回一日発行）
昭和四十四年十二月二十三日 第三種郵便物認可
発行所
東京都渋谷区神南一ノ一ノ一 早記念本育会館内
日本バドミントン協会 定価百三十円

向かうところ敵なし!!

世界を相手に活躍するブルーリース。カワサキの技術が開発した、ロングシャフトで先軽のバランスがベストセラーの秘密です。世界中のトッププレイヤーに信頼される名実ともに最高級選手用ラケットです。カワサキが自信をもってお奨めするゆえんです。



K
kawasaki racket

最高級選手用
ブルーリース
No.B-69

河崎ラケット工業株式会社